ペルソナ
罪と罰
Ⅱ

松枝尚嗣

集英社

9784088731292

1929979003906

ISBN4-08-873129-8

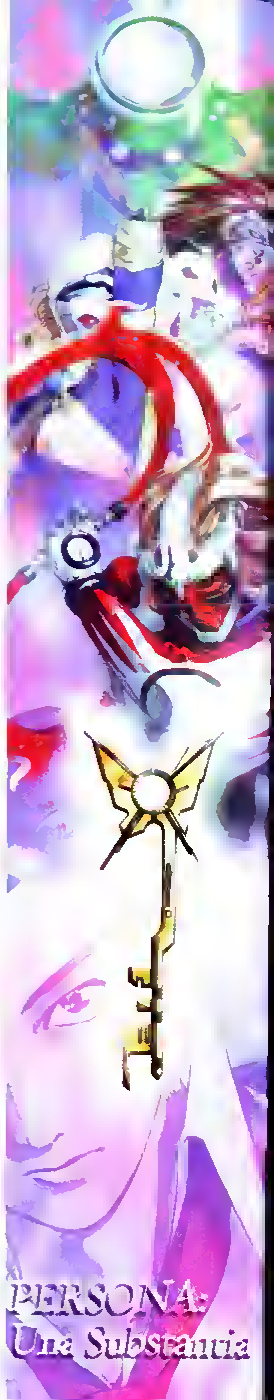
C9979 ¥390E

定価 本体390円＋税

ジャンプ・コミックス

雑誌 43005－29

ペルソナ狩りを進める"刈り手"＝ネンフィアに対抗するため、アイテム"4つの鍵"を集める一実達。だが、行く手には様々な試練が待ち受けていた…。ゲーム『ペルソナ』とリンクしたもう一つの物語——。



松枝尚嗣

面白れー事ねーなあ…なんて思ってたこの頃、たまたま訪れた道具屋街かっぱ橋にて、いきなり「食品サンプル」の世界にハマってしまいました。

そうすると不思議な物で、「あ、俺昔、食品サンプル職人になりたかったんだよな」とか、ふと意外な過去（笑）を思い出したりして、さながら本作の主人公のごとし。記憶に埋もれたもうひとりの自分…。

そんな別の世界に思いは募るのでした。

●月刊少年ジャンプ・H12年12月号～H13年5月号掲載分収録

JUMP COMICS

ペルソナ

～罪と罰～

Ⅱ．4つの鍵

松枝尚嗣

EPISODE

蝶は舞い降りた

親友・里人を追って

"NYMPHEA"

―前巻のあらすじ―

珠間瑠市七姉妹学園の高校2年生・木場一実は、夢の中で蝶の仮面を被った男"フィレモン"と出逢う。彼が手渡した"ペルソナ"の能力が、一実の人生を大きく変えて行く…。

幼い時からの親友・里人が、同時期に行方不明になった。彼を探すべく街に出た一実。だが、街には悪魔が充満し、同じく"ペルソナ"に目覚めた仲間達、ペルソナを刈るという不気味な敵に囲まれ、里人までもが刈り手となって行く手に立ち塞がる。一実の現実は悪夢の様に歪む…。

"ペルソナ"を刈り取り、廃人化する謎の敵・ネンフィア。"黒の書"と呼ばれるプログラムにペルソナを集める彼らの目的とは何か!?　一実は現実を直視し、里人を救うべく、この悪夢に立ち向かって行く…。

ペルソナ…

ペルソナとは、神や悪魔の姿を持った、
もうひとつの人格。
いわば、パーソナリティーの実体化である。
フィレモンによる無意識からの問いかけに、
その名を名乗る事が出来た者に対してのみ、
与えられる超能力である。

ONA

CHARACTERS

登場人物紹介 -とうじょうじんぶつしょうかい-

木場一実…七姉妹学園に通う高校２年生。

計　都 …一実と行動を共にするペルソナ使い。
リーダー的存在。

成　衣 …廃工場にいた３人のひとり。耶雲の妹？

鈴　音 …謎のアイテム・赤の書を駆使する少女。

Ｊ・Ｆ …霜の妖精ジャック・フロスト。鈴音と仲良し。

清水里人…一実のクラスメートで幼なじみ。

羅　睺 …刈り手のひとり。

伊　藤 …一実のクラスメイト。

日下弥雲…ネンフィア・ジャポン社長。刈り手達を操り、
〝黒の書〟解放を企む。

フィレモン…意識と無意識の境界に住む謎の神性。

PERS

ペルソナ

～罪と罰～

II

CONTENTS

7．鍵>>兄——7
8．兄>>告解——39
9．告解>>祈り——71
10．祈り>>動揺——103
11．動揺>>核心——135
12．核心>>浄化——175

…えっ
えぐ…
ふぐ…
成衣
…ひどいな
こんなに
殴られて
お兄ちゃん
もう泣くなよ
今治して
あげるから
キュン
…
あ
べるそなさま
だぁ――
7. 鍵 》 兄

ほら治った

すごーい
やっぱり私も
お兄ちゃん
みたいに
ペルソナさま
欲しい——

おまえにも
ペルソナが
見えるんだ

きっとすぐ
目覚めるさ

…成衣

ごめん…
お兄ちゃん
何も出来ない

お兄ちゃんも
怖くて…
あいつらを
止められない…

お兄ちゃん

私に
ペルソナさまが
出来たら
お父さん もう
ぶたないよね

お母さんも
怒ったり
しないよね

…成衣

そしたら

みんな
仲良く
暮らせるよね——

7. 鍵(カギ) 〉〉 兄(アニ)

PERSONA

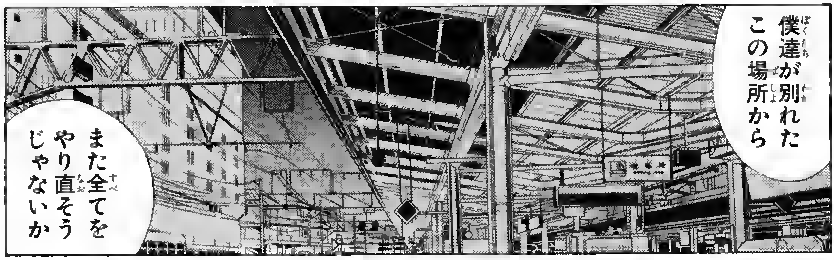
…ケイト!!
餃子
家訓(セカンドバージョン)
"俺に聞くな"
とにかく奴は
日下耶雲だ
間違いねぇ
ネンフィアJ
の社長…
奴が
敵の正体だって
言ったのは
当の成衣だぜ
それが…
『兄貴』だぁ!?
全く…
ややこしく
なって
来やがった…
おい!ボス
こいつあ…
悪いが
下がっていて
くれるかい
う…
おまえが
ここへ来るのを
待っていた
この15年
ずっと――

ここは
僕達兄妹が
最後に
別れた場所
おまえが
唯一人の家族
であるはずの
僕を捨てて
去った場所だ
会うなり
ひどい言い草
…私は…
叔父の家に
引き取られた
だけ…
捨てた訳
じゃない
どうかな

…なら何故
抵抗を続ける
僕の邪魔を
し続けるんだ？
今の珠間瑠の状況が
僕の仕業に
よるものだって事
おまえは感じ
取っていたはずだ

僕も同じだよ
おまえが再び
街に戻った事を
感じて知っていた
おまえが
ペルソナ狩りに
遭った時…
僕がどれほど
驚いたか
わかるかい？
成衣…
だから――

僕の理想は
間もなく
実現する
そうなって
からでは
遅いんだよ
成衣！
悪い事は
言わない…
無駄な抵抗は
やめて
ネンフィアへ
来るんだ！


僕達が別れた
この場所から
また全てを
やり直そう
じゃないか

成衣さん…
一体——
…鈴音？
成衣に
任せなきゃ
駄目
でないと——
…？

ペルソナ!!
な!!?
成衣さんっ
……
成衣…!
何してんだよ
成衣さん!!
その人――
早く!!
この男を
早く!!!

街を変えた
張本人！
沢山の
ペルソナ使いを
廃人にさせた
張本人なのよ
まるで
効いでねぇ…
けど――
…この男…
君は何も
分かってない!!
この男は
悪魔より
危険なの
早く みんな
何とかして!!
この男を
私の前から
消し去って!!
……
許さない！
私は この男を
許さない!!
私の
ペルソナは
この男を
止めるために
目覚めたの…
私は!!

私は――
何だ!?
このガキャ
……
もっぺん
言ってみろ
コラ!!
…成衣が…
また泣いてた
僕は いいから…
成衣にだけは
手を出すなって
…言った…ろ
何だと…!?
それが
お父さんに
向かって
言う言葉!?

あいつは
グズなんだ
あれくらい
強く言わなきゃ
聞かんだろが
ただでさえ
こっちは
仕事で
疲れてんだぞ
おまえらが
しっかりしてりゃ
俺がガキの躾に
口出さずに
済むってのに
といつもこいつも
早く
謝りなさい
何してるの!?
早くお父さんに
謝りなさい!!

べるそなさま
べるそなさま
おいでください
べるそなさま
べるそなさま
べるそなさま
べるそなさま

もう やめろよ
そんなんで
ペルソナは
目覚めない
だって…

私が
いけない子
だから
私が
駄目な子だから
だから…
ペるそなさまが
あれば――

おまえが
悪いんじゃ
ないよ
あいつらが
…

あんな父親の
くせに…外じゃ
いい顔してる
母さんも同罪だ
あいつが悪いの
わかってるくせに
認めようとしない
誰も…
何も当てに
ならない…

ペるそなさま…

…成衣
家…
出るか？
お兄ちゃんと
2人で――

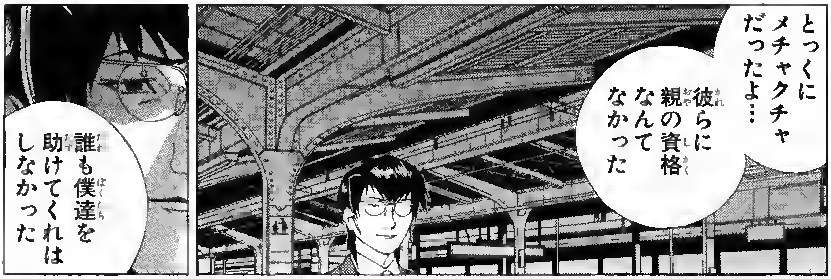
やだよ
私
お父さんも
お母さんも…
お兄ちゃんも
…みんな
大好きだもん
あうッ!!!
また
濡らしやがって
手洗ったら
水こぼすなって
いつも
言ってるだろ!!?
ごめんなさい
ごめんなさい
謝ってないで
さっさと
拭けコラ
ごめん
なさい～

まったく
どこまで
クズなんだ
もういい
こんな奴に
飯なんか
食わすな
ぺるそなさま
ぺるそなさま
…
何見てる!!
また何か
言いたいのか!?
いつも
2人でコソコソ
しやがって
親の悪口
言ってんなら
許さんぞ
何なの!?
何か
言いなさい
ぺるそなさま
ぺる…な…
お父さんが
聞いてる
でしょ
!!?
おい…
くだ…い

成衣…
もうやめろ
こいつらは
もう おまえを
いじめたりしない
誰も僕らを
苦しめたりしない
……
う
誰にも
させない
僕の…
ペルソナが
――

やあああああ!!!

あなたが
何もかも
メチャクチャに
した!!
……


とっくにメチャクチャだったよ…
彼らに親の資格なんてなかった
誰も僕達を助けてくれはしなかった

現に警察だって殺人を立証出来なかった
ペルソナによる殺害を〝謎の事故死〟とこじつけて全ては終わった
言い換えれば…世間にとっては2人の命も僕達の虐待もその程度のものでしかなかったんだ

だからって…
あなたは…あなたは実の親を殺した…!!
取り返しのつかない罪を
あなたは
やめて
僕だって…兄として——

あなたなんか――
私には――!!
ゆめさき
夢崎
Yumesaki
しんゆめさき
Shin-Yumesaki
『…成衣元気でな』
私には――
『お兄ちゃんも遊びに行く
また一緒に――』
『きっと叔父さんなら優しくしてくれるよ』
1
『何だ……?成衣今何を』
私には……!
お兄ちゃんなんかいない……!!

そこまでだぁ
これ以上ボスに手出しはさせねえぞぉ
くっ
どけっ!!
ち…
行くぞ鈴音!

あんたの身の上話楽しかったぜ
けど人狩りなんてぇ最高の楽しみは他にゃそうそうねえんでな
構わずやらせてもらうぜ!!
ぐは
私は平和と正義の使いメルキセデク!!
ぐく
何してる一実!来るぞ
こんなんで…いいのかよ…?

効かねえなああ!!!

こんなんで――

!!

!

あの女――

バカ野郎…！
そいつだって
並のペルソナ使いじゃねえ

まともにぶつかって――

せめて
私の手で
……!!
こんなんで
――!!
!!
ぐあ

君…!!
ぐ…
どうして
こんな…
いいのかよ
こんなんで
本当に…
何を…!?
当たり前でしょ
この男はね
兄妹
なんだろ
成衣さんは
本心から
これでいいって
思ってんの!!
いい加減にして
まだ君は
分かってないの
分かんねーの
そっちだよ!!
じゃあ何で
最初にケイトが
撃とうとしたの
止めたんだ!!
!!
何で そんなに
つらそう
なんだよ!!

「責任」とかって
理屈つけて
ごまかすなよ
自分の気持ち
ごまかして
勝手に
ムカついて
それ
他人に
当たってんじゃねーよ
兄妹だから
仲良くしろとか
そんな事
どうでもいい
けど
よく
分かんねーけど
成衣さんが
そんなんじゃ
こんな戦い
意味ねーよ
ペルソナだって
意味ねーよ!!!
私にも
ペルそなさまが
出来たら…
そしたら
私だって
ひけ子になって
そしたら
きっと——

きっと――
……
成衣
戦いなんて
自分の傷口を
広げるだけだ
もういい
こっちへ
来るんだ
LET'S
私は
あなたの所へ
なんか
行かない…
……
そうか…
どこまでも
憎しみに
身を任せ
戦って戦って…
何もかも
破壊し尽くして
全てを清算する
それが
おまえの選択
なんだね？
…成衣
ゆめさき
夢崎
Yumesaki
…いいえ…

彼の言う通り…
ずっと悔やんでた
あなたは私のために罪を犯したのに
恐怖から…独り残して逃げた事を―
カッ
私があなたを変えた…私のせいって…だから――
私が戦うのは憎しみじゃない
あなたを
優しかったお兄ちゃんを取り戻すため――!

!!?
キィィィン
何…!?
これは…
合格だ
君は運命の罠へと陥る事無く見事この試練を耐え抜いて見せた
フィレモン…!?
まさか…あれはあなたの造った幻…?

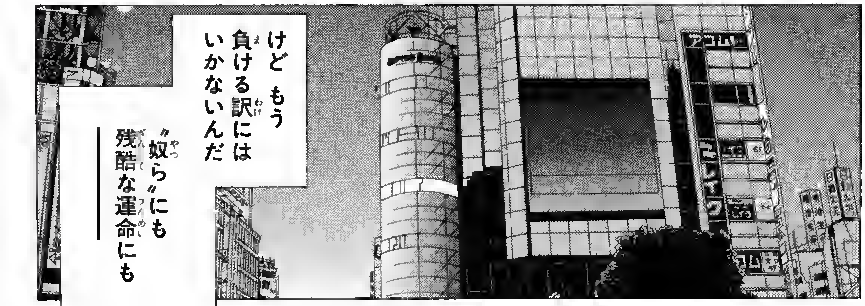
君の心の傷を
暴いた事
すまなく思う
ﾌﾙﾌﾙ
何だ…!?
どうなってる!?
それこそが
諸君の探し
求めていた物
4つの鍵の
うちの一つだ
待って
これを
どうやって…
信じる事だ
君が信じるに足ると
心より思うものを
章生…!
幻惑魔法
だったのか!
よくも!!
てめーらあ
その思いが
鍵に形を
与える――!!
成長
鍵を取って

!!
ぬく
この力は
――っ
G・R(グリム・リーパー)がっ

炎属性の剣…！

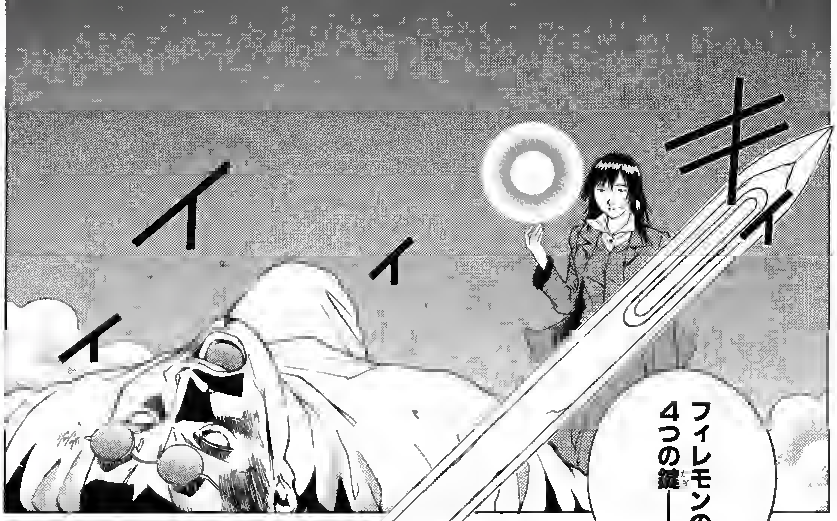
これが
対G・R
アイテム――
〝4つの鍵〟だ
だが私は
試さねば
ならない
諸君らが
これを手にするに
相応しい者達で
あるか否かを
苦難を越え
見事
その手に摑んで
くれるものと
期待している

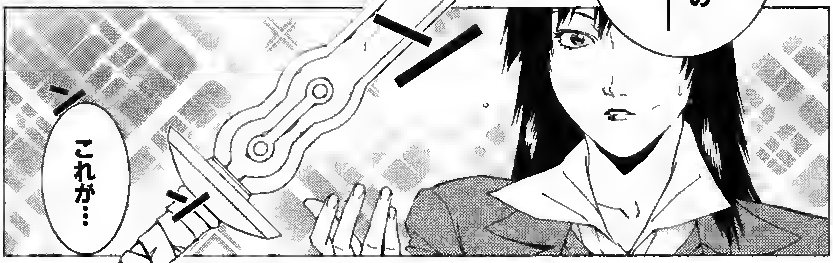
フィレモンの
4つの鍵――?
俺達は
よくよく
試されて
いるらしい
スゲー…
あの…
刈り手を
一撃で―


けど
もう
負ける訳には
いかないんだ
〝奴ら〟にも
残酷な運命にも
――――

ナーガ (Naga)

インド神話に登場する蛇神の総称。
畏怖と不死のシンボルで、この一族は神話のあらゆる所で登場、活躍しているとか。
タクシャカ、ヴァスキ等、ペルソナシリーズではお馴染みの悪魔達も、このナーガ族の王だったりするのだ。


キィ
イ
イ
イ
フィレモンの
4つの鍵――

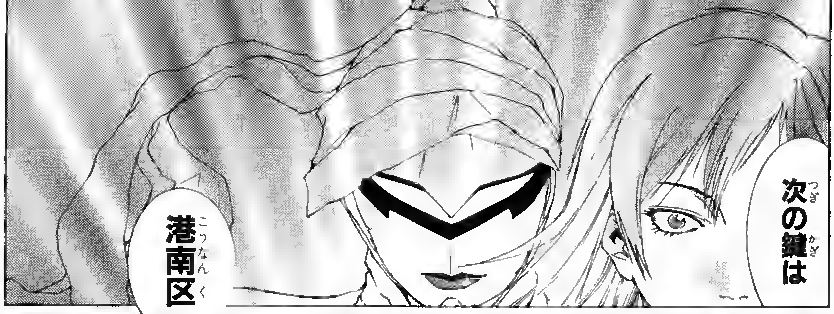

これが…

俺達全員が
こいつを
手に入れりゃ
刈り手共と
五分以上の戦いが
出きる……!!
なるほどな…
それぞれの
専用ペルソナの
属性に合わせた
魔剣て訳だ

成衣さん…
大丈夫?

…心配
かけたわね

ビシャモンテン
次の在処は
どこ…?


次の鍵は
港南区

恵比須海岸――

また訳分かんねー所に…
そこが一体何だっての？
それは後
あの男も放ってはおけない
治療して…情報も欲しいし
運ぶの!?あんな大男
とにかく…態勢を整えてから次の場所を目指すべきでしょ？ケイト

恵比須
海岸――

8. 兄(アニ) 〉〉 告解(コッカイ)

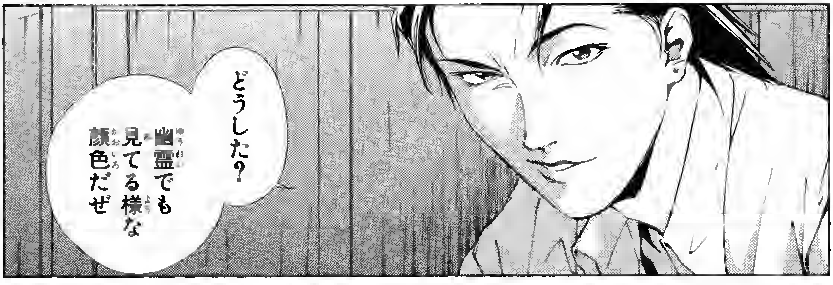
PERSONA

珠閒瑠カトリック教会

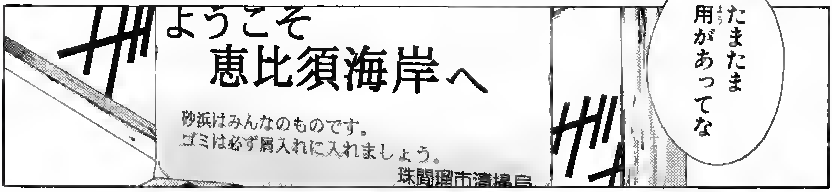
キィ
タン
神父様
私は罪を犯しました
……
主の お導きに従い
謙虚に罪の告白を
告白の経験は？
初めてです
構いません
あなたの
素直な心のままに
述べるのです
告解とは
主の救いと慈しみへの
信頼を込めたものです
あなたが
心を開けば
主も必ずや
応えてくれます
……
どうしました？
さあ――
やめた
やめた！
何かこう…
回りくどくて
駄目だな！

慎みなさい！
神聖な聴罪室——
いいじゃねえかよ！
理由は3つだ
1！俺はキリスト教徒でもカトリック信者でもねえ
2！俺は元から罪の赦しなんて求めてねえ
3！んでもって
あなたは——!!
そもそも俺の罪なんざ話さなくたって知ってるだろ？
!!!
…神父さん

君は…


どうした？
幽霊でも見てる様な顔色だぜ

計都…
君なのか？本当に？
今まで何を…？
どうしてここに…!?
いっぺんに聞くな
お互い生きてた事すら知らなかったんだぜ
華院


ようこそ
恵比須海岸へ
砂浜はみんなのものです。
ゴミは必ず屑入れに入れましょう。
珠間瑠市清掃局
たまたま
用があってな

ところが
通りかかった
教会に
かつての同僚…
しかも
神父の格好でだ
驚いたぜ！
2年前だ
この教区での
人手不足も
手伝って
叙階を受ける
事が出来た
警察を
退官した
早々に…
幸運だった

……
そうか…
おまえもあの後
警察から
追出されてたか
フン…しかし
警察ってのは
神父への道を
捨てて
わざわざ選んだ
世界だったのにな
信仰まで
捨てた訳では
ない
君こそ…
一体珠閖瑠に
何の用なんだ
あの件以来
ここには何も
残っていない
はずだろう？
……
ひでえ事件
だったからな

県警察本部

特殊急襲部隊
佐々木分隊
計6名

全員
到着！

※SAT＝Special Assault Team　警察の特殊部隊

ご苦労…
君達SATに
珠閒瑠まで
来てもらったのは
他でもない

現在
この街において
進行中の事犯

その全容の解明と
犯人の検挙が
我々の目的だ

実は市民も…
マスコミすら
この見えざる存在に
気付いてはいない

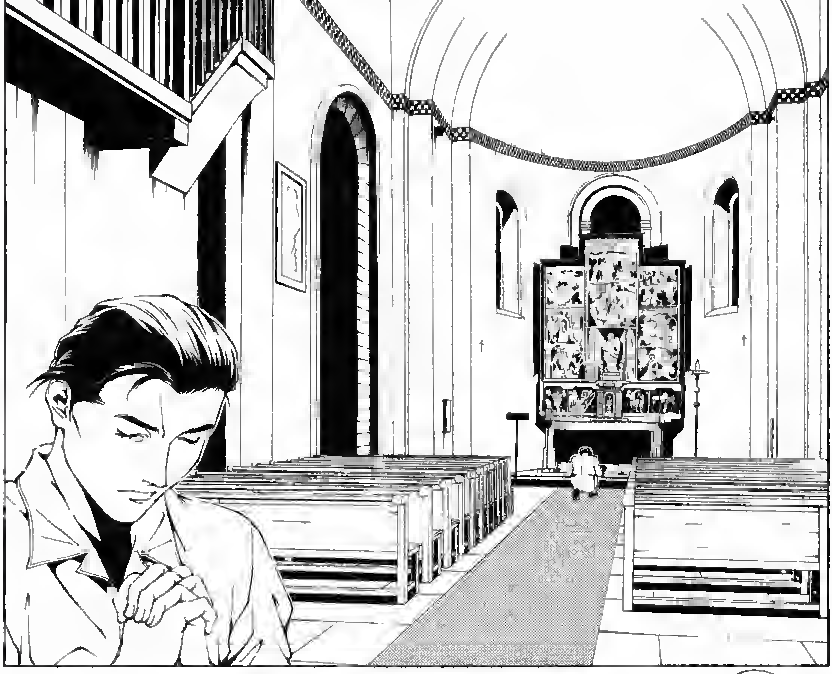
犯人は幽霊だと
言う者すら
出る始末だ

しかし！
同様の手口と思われる
殺人・傷害事犯が
続発している背景には
明らかに
ある集団と意図が
存在するものと確信
今日まで
秘匿にて
専従班を結成し
捜査を
行って来た
そして遂に
重要なる
証拠を入手
明後日早朝
君達の突入をもって
強制捜査敢行の
運びとなった

どうも
要領を
得んな
一体相手は
何者なんだ
連続殺人犯や
テロリストじゃ
ねえって事か？

計都
いいじゃねえか
だからこその
SAT出動だ
それに
俺達や
切り込み隊長
真っ先に
相手とぶつかる
役目って事だ
嫌ってほど
犯人の面は
拝めるさ

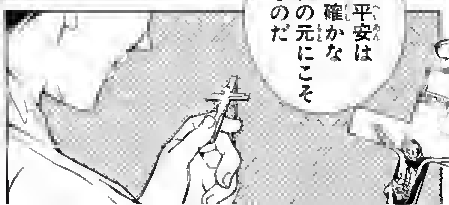
なあ華院
ああ
こら！私語は慎め！
分隊長！
だが…計都の言う通りだ
我々分隊はベストを尽くせばそれでいい
さすが！物分かりいいっスね
調子に乗るなバカ者
聞いてるかSAT～！
場所は港南区南東部恵比須海岸に面した廃屋
ここは――



おいおい
こんな所にいたのか
イィイィイィ

計都
おまえなあウロウロして対象者に気付かれたらどうすんだよ
一時間後に最後の打合わせだ早く戻るぜ

出動前に神頼みとは感心しねえな
いざって時物言うのは技術と経験だ
どうかな


心の平安は唯一確かな存在の元にこそあるのだ

おまえ…
信者
だったのか
ああ
カトリックだ
これでも
神学校まで
出た身だ
しん…
がっこう？
神学を
学ぶ所さ
主に教会の
指導者に
なるべくね

私も
神父になる
つもりだった
初耳だぜ！
変わった男
だとは
思ってたが…

何でまた
そんな奴が
警官に？
銃が
撃ちたくて
マジかい!?
冗談だ
……
やっぱり
君は
いい奴だな
…計都

計都
私はずっと
〝力〟を
信じて来た
力は人を
傷付ける事も
あるだろう
だが力は
社会を守り
人を守る
信仰を
貫く事にすら
力が要るのだ
力を
否定する事は
善良を装った
無知に過ぎない
…偽善なのだ
そう…
思わないか？
華院…
…何か
居心地が悪く
なっちまった
どうやら
ここは俺が
いるべき所じゃ
ねえらしい…
先…
戻ってるぜ

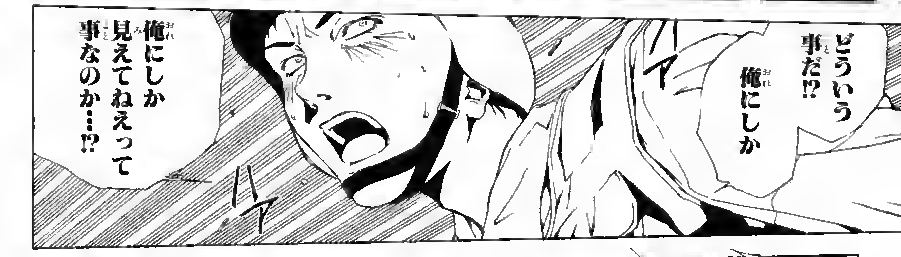
華院
少なくとも
俺達の力は
必要だぜ
世の中にゃな
パタン
ポツ

ち…
小雨がパラついて来やがった
私語は慎め！
恵比須現場本部からSAT
3時0分をもって突入！変更なし
SAT分隊長了解！

突入!!!

うわ
何だ!!?
何事だ

ぐっ…
横田がやられた
下がれ!!
下がれ
計都
!
ぐほぉ
橋本!!
…
何だぁ…!!?


どういう事だ!?
俺にしか
俺にしか見えてねえって事なのか…!?

分隊長から恵比須琥本!
対象者から待ち伏せを受け被害!
作戦中止の指令を求む
指令を!!
おい…高原…
横田さん!!
横田さん応答を!
駄目だ…みんな——

くそっ
残ってんのは…
華院!!
どこだ!!?
位置を――
華院!
逃げろ
計都!
しかし
俺達の
かなう相手じゃ
ない!!
今すぐ――
分隊長!!
はっ
う…
うぐ…

くそったれえぇぇ!!

頭から
ケツまで
妙な事件
だった

その後も
メチャクチャだ
命からがら
逃げ出して
戻ってみれば
何も無かった
隊は全滅…
専従班は解散…
証拠も…証人も
…俺自身も！
みんな
消されてた
あまりの
手際の良さに
流石の俺も
解ったよ
あの一件は…
事件そのものを
闇に葬るための
バカでっけえ
罠だってな

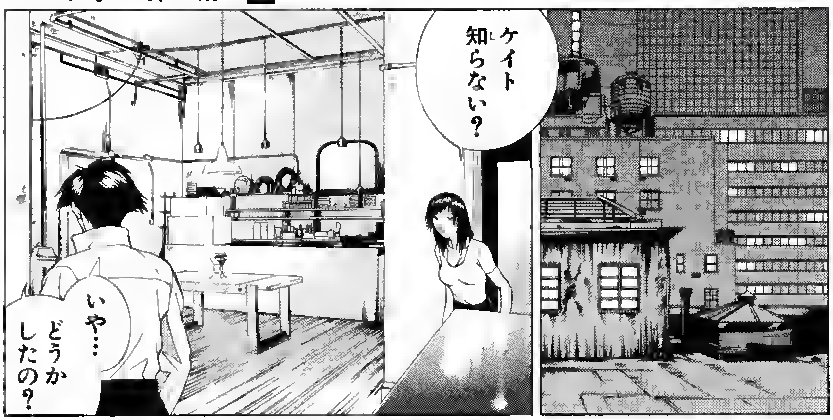
とにかく
俺は
何もかも
無くしたよ
みすみす
仲間を死なせて
死人として
不様に
生き残った！
…何の用で
来たのかって
言ったな？
ここが
俺のくたばった
場所だって
思い出したからさ

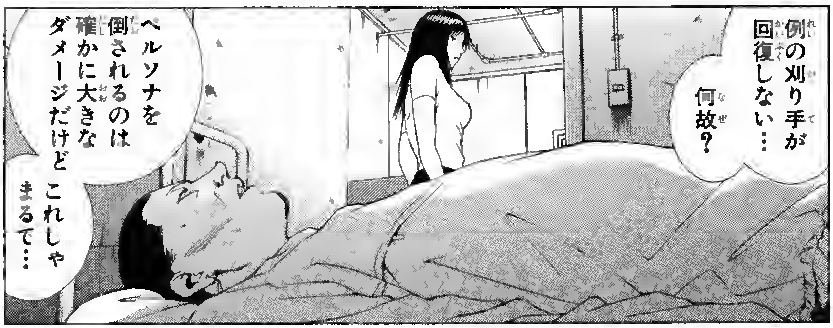
この2年間
死人のまんま
ただ腐れ
果てんのを
待ってた俺が
やっと
気付いた…
ここにこそ
以前の俺の
生きた証を
取り戻すための
鍵があるってな

華院
2年は…
長かったな

何が言いたい
腹の探り合いはもう終りだ
恵比須海岸でおまえを見かけた時から答えは出てる
違うのは
生き残った？警察を辞めた？全部嘘だ
おまえも俺と同じ…罪にまみれて消された身さ
仕掛けたか仕掛けられたかって事だろ？
それに今ならはっきりと判る
あの晩嗅いだ…居心地の悪り匂いの正体がな
ありゃ

"刈り手"の匂いだよ
あの時はうまく逃げたつもりだったのだが
残念だよ計都


ケイト知らない？
いや…どうかしたの？


例の刈り手が回復しない…
何故？
ペルソナを倒されるのは確かに大きなダメージだけどこれしゃまるで…

まるで…刈られたみたい…って事？
だとしたら――!!!
ケイトは!?どこ行ったのこんな時に…
知らねーって
何か次が恵比須海岸って聞いて考え込んでた風だったけどさ…

…まさか…
恵比須海岸？
独りで!?
試練は
独りの力で
乗り越えられる
ような
生易しい物じゃ
ない…
無茶――
ペルソナ
その力が
もたらす
無限の光
キィィン

でも
計都！
事の真相を
知りたいのなら
その悪魔を祓え！
その光が
強ければ
強いほど…
落ちた影は
深く…暗い
自分を
取り戻したい
のだろう
ならその
秘めた力で!!
俺達は
またもや
思い知らされる
事になる
自分自身の
影の像の
おぞましさに
――――
ペルソナ!!

やはり君には
ペルソナの力が
眠っていたか
だが…力を
持てる者の果てを
知らずして
私は討てないぞ
計都
言ったろ？
2年は
長えんだよ

松のへるとぐな話。その4

メルキセデク (Melchizedek)

キリスト教グノーシス派から、平和と正義を司る者として崇拝された天使。このグノーシス派、元はローマ帝国の圧制にあえぐ属国の有産階級が成立させた神秘主義。いろんな宗教に寄生して独自のグノーシス神話を作り出していたらしい（何か負け犬ボンボン集団がやる事はいつの世も同じですな）。てな訳で、ローマとつるんだ正教会に「異端」として潰されていったとさ。

恵比須海岸
ケイト…
知ってたのね
次の〝試練〟は
自分の番
だって

でも…
俺達の予想が
当たってるなら
刈り手達は
悪の手先の
極悪人集団
なんかじゃ
ないとしたら
今刈り手を
倒すって事は
結局——

9. 告解 ›› 祈り

……
イライラ
して来た
ルゥゥ
飛ばす!!
キッ
キ
だあ
何か前にも
こんな事
あった——!!

9. 告解(コンカイ)〉〉祈(イノ)り

PERSONA

雷霆神
インドラ
君の
専用ペルソナ
だな 計都
遠からず君も
その力に
目覚めると
確信していた
だが
私には
一日の長が
ある――!
ドン
神学校時代…
この力に
覚醒した時は
興奮に
体が震えたよ
ズズ
こいつ…
私は
〝神の力〟を
得たのだとね

私は地獄の伯爵にして公爵バルバトス!!
過去と未来を見通す人生の狩人だ
さんざ神様に仕えてきたのに力を持った途端その様かい!
笑わせるぜ
そんなのを救いようがねえって言うのさ!!

ジオダイン
ち…
物理防御魔法(クッカジャ)!!
魔晶(ましょう)一無慈悲(むじひ)な刈(か)り手(て)!!
なるほど
防御(ぼうぎょ)を強化(きょうか)して
肉弾戦(にくだんせん)に――

だが
甘い
尖鋭奇岩!!!

うが
地属性のペルソナか
道理で風のインドラにゃ堪える訳だ
君の言う通りだ
神の力を体内に宿す者となった時から私は信仰への興味を失った
世のために力を存分に振るうべく警官を志した
果たして私は認められSATに選抜されるに到る
私の力への妄信はいよいよ強固となった

フン
刈り手に身を落としたのもG・Rの力欲しさって訳だ
君は解っていない
刈り手の何たるかを
そして運命という名の抗し得ぬ力の恐ろしさを！
!?
この戦いにG・Rは必要ない
1人のペルソナ使いとして君に挑もう

何のつもりか知らねえが
後悔したって知らねえぞ!!
トリプルダウン
ド
ド
効かねえんだよ

キャ
ドラ
バ
マハガルダイン
風で砂を…

集中力が足りねぇな
確か昔からそうだったぜ
!
砂!?
しまった 相手は地変系の
そう……個人技能は私が上だった!

堕天の微笑み
何だ…この魔法……!?
ぐあ
思い知るのだ君は無謀な戦いを挑んでいる事を
珠閒瑠を覆う強大な影その正体を
本部長室
私だけ出動前に…何の用でありますか
珠閒瑠へようこそ
華院巡査部長
是非ともあなたの〝力〟を借りたくてね

あなたが
ペルソナ使いで
ある事は
既に承知済みだ
〝書〟が
全てを
教えてくれる

臼下…
耶雲…
!!
運命の
出会いだ

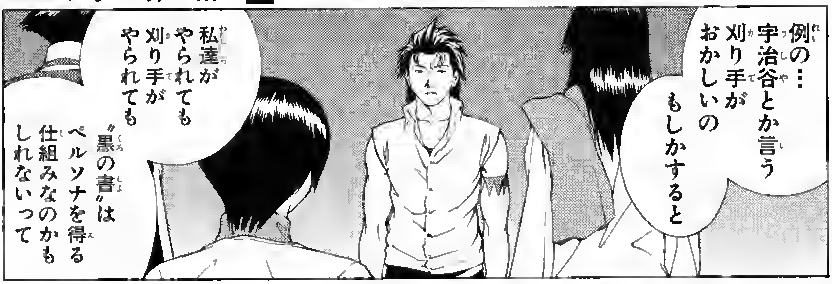
圧倒的…
正に圧倒的な
彼の〝力〟…
私は一瞬にして
彼の〝力〟に
呑まれたのだ
更に
県警本部長をも
取り込んだ
〝書〟なる謎の力…
ぐ…
ぐあ
君還が
倒そうとして
いるのは
桁外れの力を
駆使する
ペルソナ使い
なのだ…!!

この一件には警察の上層部も深く関わっている
己の無力――
今のは誤射だな
訓練じゃなければおまえは仲間を射殺してる！
突入技術は個人技能じゃない何度言えば分かる
うがっ
ぐはっ
はいっ
いいか!? 相互支援の態勢が基本だ
さもないとチーム全体を危険に曝すぞ
思い知るのだ計都…!!!
……
隊員全員の信頼と協力を徹底するんだ!!
そうてなきゃ俺達は誰も救えない役立たずだぞ

力を信じたから力に従ったまで!?
そんな泣き言で
おまえの裏切りを認める訳にゃいかねえ!!
破った――!?

ぐあ
バリ
ガシ
ぐく…
おまえ…
今のは
何の真似だ
どうした
直前で手を
緩めるなど…

駄目だケイト!!
刈り手を倒しちゃ駄目だ!!!
おまえら――!
何でだ!? こいつらは――
刈り手を倒すって事はねケイト
刈り手のペルソナを刈り取る事と同じなのかも知れないの
…何だあ…?
何訳分かんねえ事言い出すんだ


例の…
宇治谷とか言う
刈り手が
おかしいの
もしかすると
私達が
やられても
刈り手が
やられても
黒の書は
ペルソナを得る
仕組みなのかも
しれないって

華院…
おまえ
知ってて
わざと…

あの時――

…わかるか？
計都
神に仕え…
人のために
尽くそうとした
この私が
結局は
影の力を
振りほどく事も
出来ないまま
おめおめと
人を狩りながら
生き続けるしか
なかった皮肉を
華院…

察本部

強制捜査の機に乗じて…
専従班を壊滅させる……!?
何という…言語道断だ
断る!!
何故
当然だ!!! これは不正どころではない重大犯罪だ!!
こんな陰謀に私が"力"を貸すなどと―
やるのはおまえじゃないタロットだ
それの中には不思議な力が封じ込めてあるそうだ
俺がやってもいいんだが…俺には生憎と力がない
あなたは――
どうせ逃げられん
その人に協力しておけ

そうすれば
おまえも
未来を
約束されるぞ
佐々木…
分隊長が
…奴らの…!?
我が分隊が
選出されたのは
偶然では
無かったのだ

私を本当に
追いつめた物
それは
〝彼〟ではなく
…信頼する
人間だった
嘘だ…俺は
あの人が
殺されんのを
見てんだぞ!!
この目で
そう

だから私は
くそ…残ってんのは…
あと一人…
逃げろ計都
俺達にかなう相手じゃない…早く
え?
分隊長!!
許せなかった——

絶望の果てのささやかな抵抗

それがますます私を泥沼へと引きずり込む結果となった

その行為は何故か〝彼〟の目に止まり――

私は刈り手へと仕立てられた

恐ろしい男だ

〝彼〟の考えは私の想像の及ぶ所ではない

まるで私が逃げ場を失いのたうつ様を透かし見ているがごとく――

癒しと救いを求めて戻った神の道も

罪にまみれた今の私には…

…もう…

私は…

私は――!!!
計都…
この力は
本当に
"神の力"
だったのが…?
行け
バルバトス
!!!
ズオ
あいつ…
ケイト!!
私は結局…
どこにも
神を見つけ
られなかった

おまえみたいな
奴こそ
神様は
救って
くれんじゃ
ねえのか…!?

華院…

!?
キィン
十字架が
鍵に…
ペルソナを
刈り続けた
この2年間
ずっと
待っていた
G.Rこと刈り手を
…私の罪さを討つ
ペルソナ使いを
俺の試練…
そういう
事かい…
計都!!!
私にはもう
自らを律する
力もない
せめて―

君の手で——

ミュ
済まない…
これで…
終わる…
君の…
勝利を…
祈る――

風の剣だ…！

待ってな華院
この俺が全部決着つけておまえの力取り戻してやるさ

とりあえず
V・ルームに
運びましょう
手を貸して
こりゃ
運ぶ
また
運ぶの!?
グスグス
言わない
今は
精神崩壊を
少しでも
遅らせて
その内に
解決策を
探すしか…
ね
ケイト…
……
ケイト…?

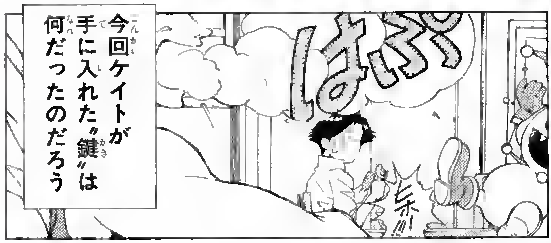
畜生…!!
何でだ 華院
何で こんな事に なっちまった!!
畜生…
ケイト…
くそっ… 片なんて 何も付きゃ しねえ
何も 戻りゃしねえ!!
一体 何で こんな——!!
畜生……っ!!!

それも
〝運命〟と
呼べるのだろうか

刈る側と
刈られる側
そんな物は
ほんの些細な
巡り合わせで
変わってしまう

影の力に
呑み込まれた
あの刈り手の様に
俺だって
刈り手になって
いたのかも
しれない

そんな考えが
頭をよぎった



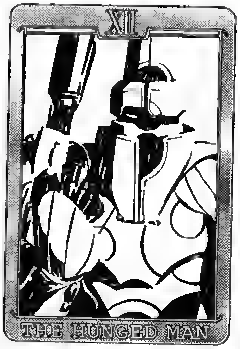
今回ケイトが
手に入れた〝鍵〟は
何だったのだろう

ケイトは
とっくに
いつもの

俺達の
知っている
ケイトに
戻っていた

バルバトス (Barbatos)

ソロモン王が記したと言われる（実は嘘らしいが）魔法書「レメゲトン」に登場する72人の悪魔の一人。
地獄の大公爵。
この悪魔、天界を追われた元天使。それも９段階中５位に当たるヴァーチャー（力天使）だったとか。
因みに、里人のペルソナ・アークエンジェル（大天使）は第８位。



…次の鍵は
『どこだか
判らない』って…
どーすんだよ
あと2つ!!

10. 祈り ›› 動揺

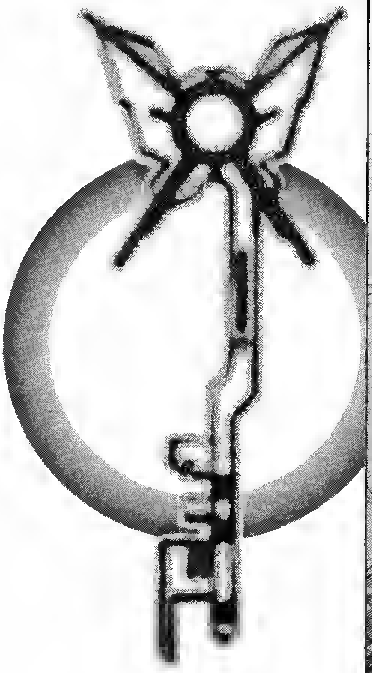
私が悪いって言うの…!?
あ…いやそんな事は
ビシャモンテンが手に入れた情報があれだけなんて…
そんなに都合良くは行かねえか
こりゃ心当たりを珠閒瑠中探し回るしかねえらしいぞ

でも…こうしてる間にも『黒の書』は…

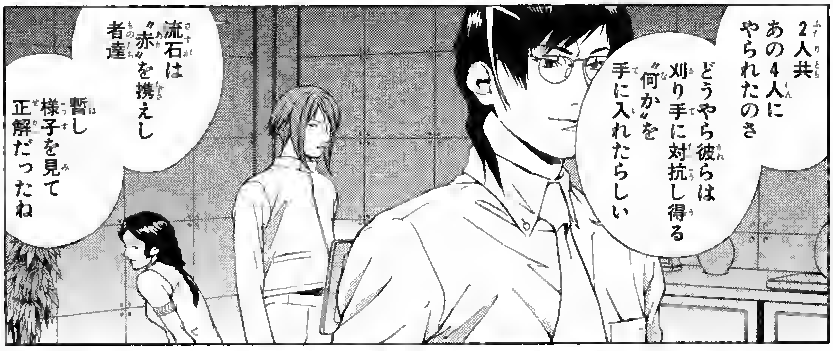
ま☆気にすんなサイアク俺と成衣の2本ありや割とイイ線行く気もするし
うわメッチャ不安!!
私は嫌
鈴音〜

10. 祈り(イノ) 〉〉 動揺(ユレ)

PERSONA



宇治谷と
華院の
ペルソナが……
XII
XX
JUDGEMENT
HDD:Schwarz
File "Persona" に保存しますか？
キャンセル
保存
"青"に――


2人共
あの4人に
やられたのさ
どうやら彼らは
刈り手に対抗し得る
"何か"を
手に入れたらしい
流石は
"赤"を携えし
者達
暫し
様子を見て
正解だったね

…まさか…
そんな事を
確かめるために
2人をダシに
使ったのか
そんな事？
君ともあろう男が
事の重大さを
理解出来ないとは
…何だい

お時間です
珠間瑠TVに
そうだったね
…すぐ行く
例のTV出演か
これも
仕事でね
……
何を
考えてる？
俺達の計画は
着々と進んで
いるはずじゃ
なかったのか？
里人君
僕は かつて
赦されざる
大罪を犯した
かけがえの
ない人間を
この手に
かけたんだ
でも他に
選択肢なんて
無かった
以来僕は
ずっと同じ思いに
取り憑かれている
やああああ!!
僕を
深い闇の深淵へと
引きずり込んだ
“運命”という名の
不可思議な力
あれは一体
何なんだ？とね

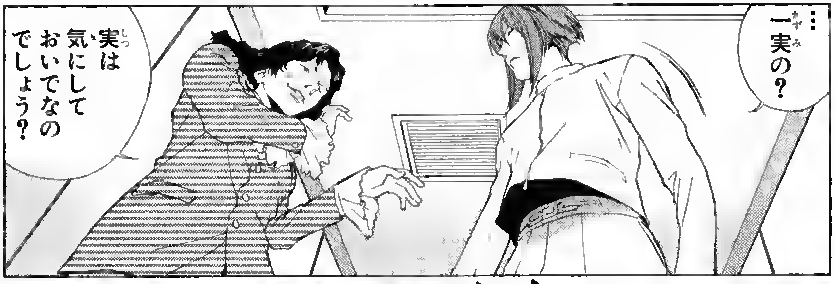
宇治谷君や
華院氏だって
その運命を
味方に出来なかった
…それだけの事さ
2人が
やられたのも
運命…と
言いたいのか
これはね
戦いなんだよ
障害のない戦いは
およそ戦いとは
呼べない
こちらが
圧倒的に有利な
立場にいるなんて
つけ上がらない事だ
僕だって
僕なりに
決死の覚悟で
この戦いに
挑んでいるつもりだ!!

零亜
万一の用心に
僕の護衛を
わかった
見えない所に
いるよ♡
君は——
留守を頼む
や——い♪
怒られて
やんの——
パタン
……
まるで鬼！
〝書〟の解放は
良くも悪くも
世の中を変える
あれ位で
なければ
安心出来ない
我らがボスの
非情さには
つくづく
恐れ入るばかりで
これはこれは！
天晴ですね

例の
あなたの御学友
彼の
居場所を
察知致しました

時に
一つ
お耳に
入れたい事が

社長の
留守中だ
出過ぎた
行動はー
そう
おっしゃらず


…
一実の？
実は
気にして
おいでなの
でしょう？

どこだ？

この4人を
ボスは別扱いと
しております
このままでは
あなたも
さぞ
苛々が募る
事でしょうね

先だって
彼の心を
私は魔法にて
覗き見ております
その波動を
トレースし
位置を特定
する事に
成功致しまして

そのタロットは
私が最近
契約した
強力な悪魔です
彼の導きに
従えば
おのずと――
…
どういう事だ
何の為に
こんな事を
御学友の力には
私一度
憑りております
それに
お2人の事に
割り込んでは
失礼かと…
……
おまえほど
動機の見えない
刈り手は
いないな
はてさて
動機や目的など
人の生を
粉飾するための
愚かな方便
人とは何故にして
これほどまでに
己の生に
後ろめたさを
積み重ねるのやら…
この男――
……
社長には
秘密だ
勿論！
万事心得て
おりますよ

何もかも
定められた事
いかにも
ラプラス
そして
この羅睺こそ
人を
定めるべき
存在——

鍵
それが無ければ
俺達は勝てない
いよいよ
異変を来す
今の珠閒瑠を
元に戻すためにも

と言うよりも
その責任が
みんな俺1人に
伸し掛かって
いる様で

カギ探す
心当たり
回って来る
一実

俺は
居ても立っても
いられなかった

…出てったか

バカな子

次は自分だって
思い込んでんのさ

それとも
〝試練〟が怖くて
逃げ出したか？

放っとく気？

心配すんな
以前みてえに
気をバラ撒いて
悪魔呼び集める
様なバカは
もうしねえさ

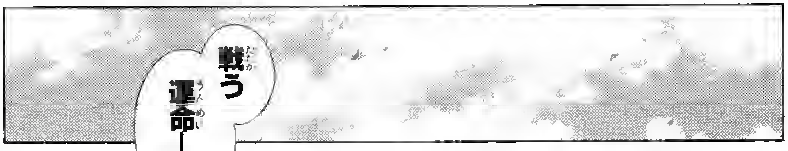
この戦いに
必要な物は
俺達各々
みんな違う

4つの鍵が
それぞれに属性を
持ってる様にな

少なくとも
過去の悲劇に
歪んじまった
俺や おまえと

あの一実が
同じ鍵を
必要としてる
訳がねえし

見ろよ！
こいつには
収める鞘が無え
俺には
まるで
抜き身のまんまの
こいつを
手にしたら最後
その人間は
行く所まで行く
しかねえ運命だって
言われてる気がするよ


戦う
運命——

蓮華台北一丁目
本丸公園

あ――あ…

駄目だ…

今までから言って
手掛かりなんて
自分で見つかる
訳ねーし…

たとえ
見つかったって
その後の
〝試練〟の事を
考えると――

試練…

フィレモンの
〝試練〟

その凄まじさは
目にしただけで
十二分に
伝わる

俺は――

くそっ！
何でこんな…

きゃあ
遅刻遅刻～

ばったり
……あれ…っ
あ…
木場…君
伊…藤

木場君っ!!
わ!!
木場君っ!?
行方不明の
木場君がっ…
いつ戻ったの!?
みんな大騒ぎで…
清水里人の後
木場君までって
頼む
静かに…
だってだって
だってだって
もう一か月だよ
捜索願いも
出てて…
私も心配して
――
…そうか
あれから
まだひと月――
……
木場君――
もう何年も
経ってる
みたいだ…

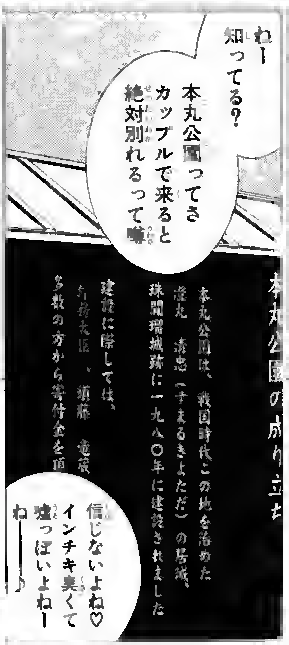
おまえ…家 この辺なんだ…
そ！そのせいで学園祭の実行委員にされちゃったの
遅くまで残れるからってもおかげで寝坊！最悪!!
喜んでやってるくせに…

でも良かった木場君が戻って来て

あ…だってさ！ほら仮面舞踏会の言い出しっぺだし
それにみんな私がいないと何もしないし独りで大変!!

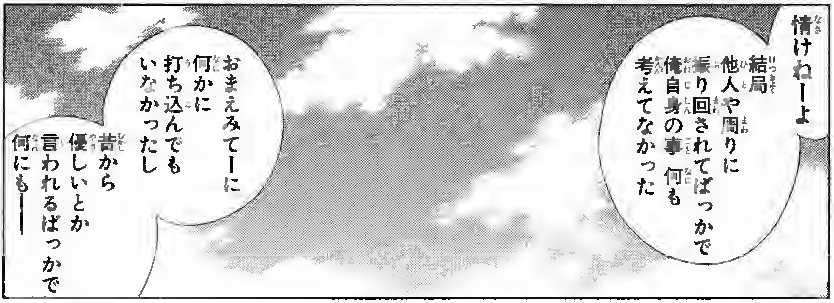
そーか…相変わらず頑張ってんな

何だよ——木場君も一緒に頑張ろうよ～
も——2人こんな所でカップルみたいに座っちゃってさ


ねー知ってる？本丸公園ってさカップルで来ると絶対別れるって噂
本丸公園の成り立ち
信じないよね♡インチキ臭くて嘘っぽいよねー

はうっっ!!!
それってば私と木場君はジ・エンド!!?
しもたー
あぁっ
オーマイガ
いや別に付き合ってねーし…
はうっっ!!
そそそっか私今先走ってた
でもそれってまだ大丈夫って事〜〜♡
きゃ〜♡
…落ち着いてくんない?
…やっぱり…何か…あったの……?
おまえスゲーないつも一所懸命でねーんだ
…なのに俺はどうしていいのかすら判んねー
次はきっと俺なんだ
俺が俺の手で乗り越えなきゃいけない…なのに——
何も出来ない…それどころか——

今は
ただ怖い――
木場君…


情けねーよ
結局
他人や周りに
振り回されてばっかで
俺自身の事
何も
考えてなかった
おまえみてーに
何かに
打ち込んでも
いなかったし
昔から
優しいとか
言われるばっかで
何にも――

どーし
ちゃったの!?
木場君は
……
そう言う割りに
しぶといな
…一実

呑気に悩んでいるがいいさ
俺がすぐ楽にしてやるよ
…里人…!!?

え…
清水…里人…？
下がってろ
どゆ事!?
あの清水里人!?
何で何で!?
てゆっか
浮いてる!?
……
何で？
何コレ？
夢？ねえっ
やれ!!
え？
な…っ

シュ
ウ
ひゃあ
フン
…いきなり何考えてんだ
フツーの人間には見えないからって
伝わる力は同じなんだぞそれを…

同じとは
初耳だな
ペルソナが
無い分
もっと効くと
思っていたよ
て め…!!
初めから
こうしてれば
良かったのさ
目障りな
おまえを狩って
目的に
邁進する
その過程で
例え
何を犯したって
俺の罪は
浄化されるん
だからな!!!
ちっ

ペルソナ!!!
ギギギ
ガガッ
きゃあ
罪?
浄化!?
それが"黒の書"解放と関係してんのか!?
知る必要は無いと前にも言った

何これ…
何これ〜〜っ
利剣乱舞!!
一文字斬り

この短期間に大した進歩だ…一実

もっとも日和見が何より得意なおまえだ

それ位の〝適応力〟は想定の内さ

ぐあ

木場くん!!?

ぐぐ…

おまえに刈り手は倒せない

今までは運良く生き延びて来たがもう終りだ…!!

ふざけんな…
ここじゃまともに話も出来ねー…だから――
邪魔なのを先に片付けただけだ！
霧消――っ!!
!!
呪殺魔法…
いつの間に
いつまでも…俺が何も解らねーままって思ったか？
7年前！一本杉…!!
忘れたと思ってんのか!?
一実！

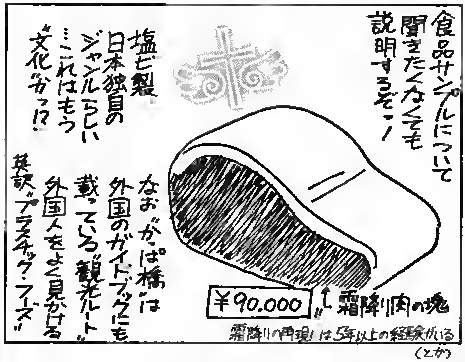
里人！
アラヤ神社に来い!!
あそこにおまえの…俺達2人の秘密がある
この機会に何もかも確かめてやる
一実…！
……いいだろう決着だ！
おまえこそが罪にまみれた身なのだという事を
この俺が教えてやろう——!!

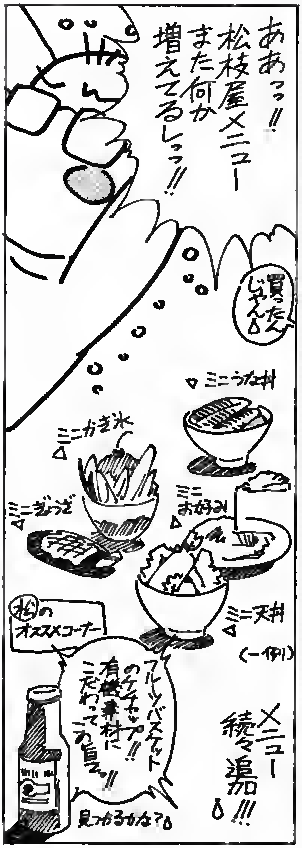
今は何も説明出来ねー…でも
里人の為にも俺の為にも…放っとく訳に行かねーんだ
柿いけど…情けねーけど俺だって――
ダッ
木場君!!
木場君～!!
ビーなってんの!?2人共ビーしてこんな…
伊藤
今日の事はみんな内緒だ
え…
うん…

俺の長い1日が始まった——
俺は
走っていた
アラヤ神社
そこへ行けば
俺と里人の関係は
何もかも決着する
走りながら…
そう思っていた
その時は
本気で——

ゴーン
ゴーン
ここに〝黒の書〟の本体が…
社長以外にその立ち入りを許されないネンフィアの聖域――
DAS SCHWARZE BUCH
立入禁止
正に鬼のいぬ間に

ねのべるそ～な話。その5



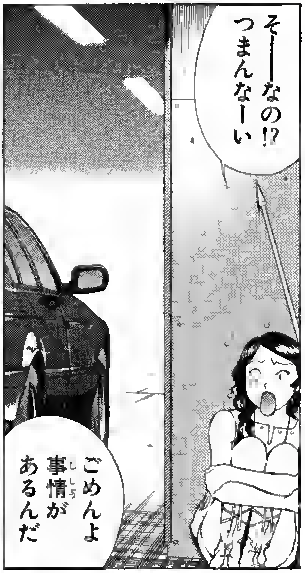


nimatsueda@hotmail.com

ショクイン　(燭陰)

中国に伝わる伝説の山「鐘山」に棲むと言われる龍神。棲むというか巻き付いてるらしい。でか！
それもそのはず、自然の摂理を司り、季節も気候もこいつが生み出している。
あ、このショクイン、前出のインドの蛇神ナーガが中国に伝わり変化した神とも言われている。偉くなったねぇ…。

11. 動揺(ユレ) 》 核心(カクシン)

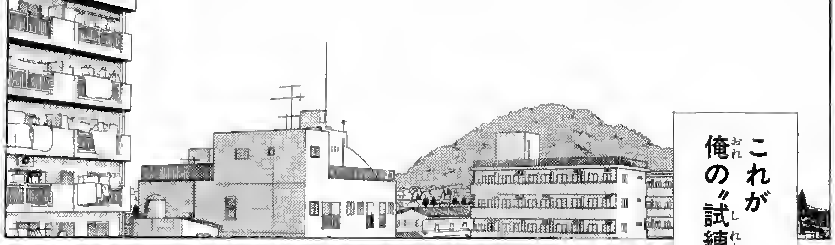


零亜！
やっぱり君は頭のいい子だ
タン
うふ
耶雲だけ
零亜の事
そう言ってくれるのは
それは世の中の方がおかしいからさ
大丈夫…
それもじき終わる

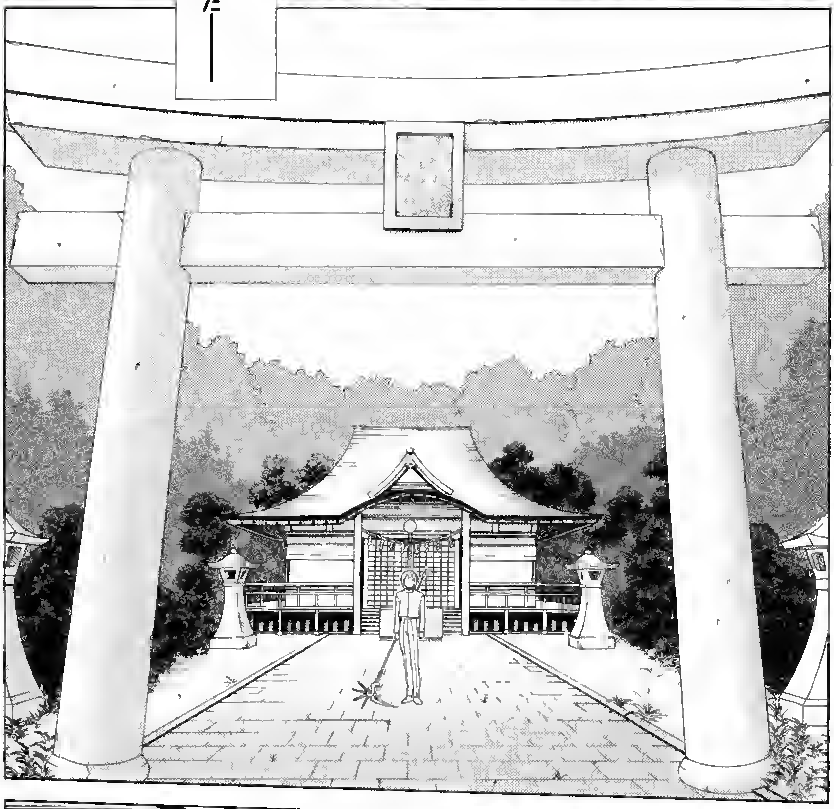
SUMARU TELEVISION
今日は記念すべき一日になるよ…！

11. 動揺(ユレ) 〉〉 核心(カクシン)

PERSONA


これが
俺の〝試練〟

そう
思っていた――



ズバッ!!

…里人…！

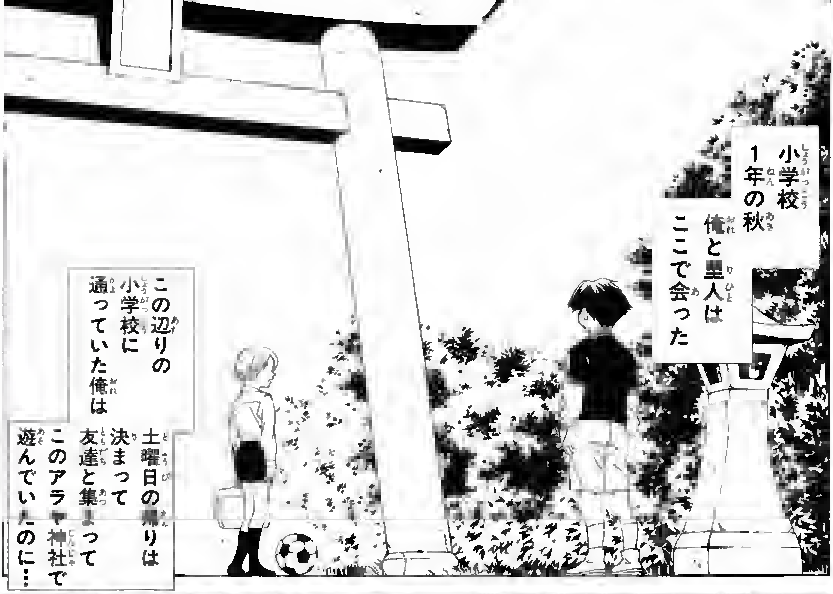
一実…

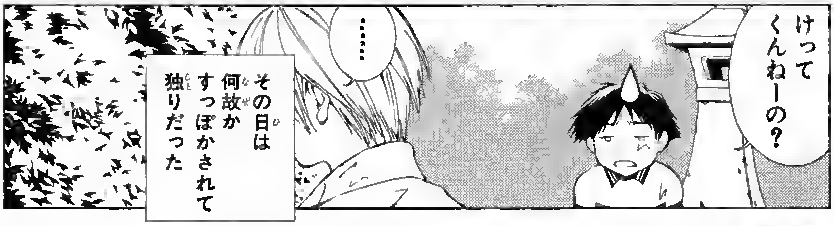
アラヤ神社
ここで会うなんて久し振りだな
おまえにはとっくに過去の遺物と成り果てたんだと思っていた
……
確かにそうだった…けど違ってた
思い出したよここは俺達2人が出会った場所
いや…3人だな

土屋 真那
一本杉のあのマナと
俺達の3人が――!!
カチ…

そうか
やっと思い出したのか
やっと…
10年前を――

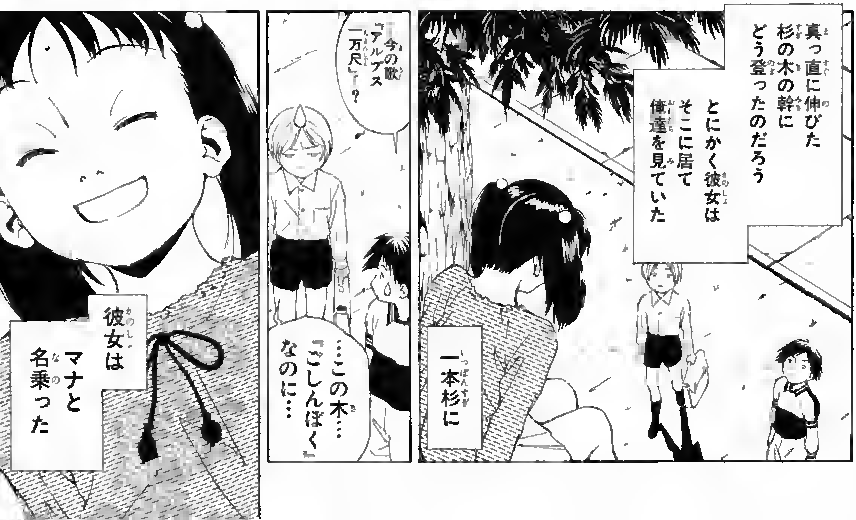
ごめ――ん
ボール
……
こっちけってー！
あ…僕！
うん…早く…

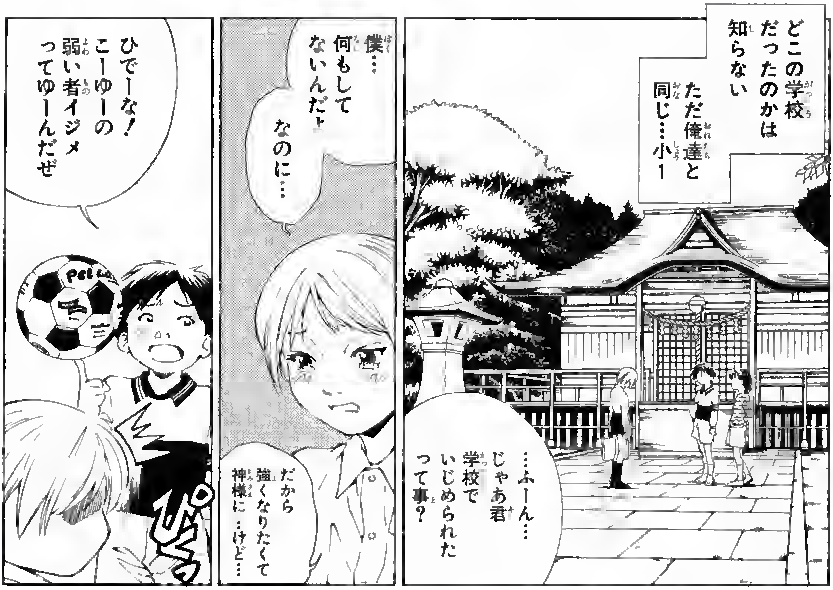

小学校1年の秋
俺と里人はここで会った
この辺りの小学校に通っていた俺は
土曜日の帰りは決まって友達と集まってこのアラヤ神社で遊んでいたのに…


けってくんねーの？
……
その日は何故かすっぽかされて独りだった

僕…
そして——
Simple Simon met a pier man Going to the fair——
おまえ大丈夫ー？
腹いてーの？
〝こいつ大丈夫か？〟それが里人の第一印象だった

むだむだー
そいつさ
ず――っと
何もしないで
そこに
立ってた
んだから
ここから
見てたから
私知ってるよ


真っ直に伸びた
杉の木の幹に
どう登ったのだろう
とにかく彼女は
そこに居て
僚達を見ていた
一本杉に
…この木…
なのに…
「ごしんぼく」
「今の歌
「アルプス
一万尺」？
彼女は
マナと
名乗った


どこの学校だったのかは知らない
ただ俺達と同じ…小1
…ふーん…じゃあ君学校でいじめられたって事？
僕…何もしてないんだ
なのに…
だから強くなりたくて神様に…けど…
ひでーな！こーゆーの弱い者イジメってゆーんだぜ

あ
どーせ僕は弱いんだ…

ずっとこのままなんだ
ずっとずっといじめられて僕は——
アラヤ神社
そんな事ないって！頑張んなよ!!
決まってる
!!!
その時…彼女がおかしな提案をした——
よしっ!! マナがいい事教えたげる!!

ペルソナ様!!
「未来の自分が見える」っておまじないなんだよ!
…ペルソナ様!?
みんなが輪になって順に肩を叩いて行く
確か そんな手順だった
ペルソナ様 ペルソナ様…
おりて下さり
ペルソナ様 ペルソナ様
俺達は彼女に乗せられる形でその妙な儀式に参加していた
ペルソナ様…
こんなのバカみたいだいーからやんなよー!

何か こいつ 怒らせたら 怖えーぞ

やっとけって

何それ!! そっちも 真剣に やってる!?

ちゃんと やんないとねー ペルソナ様の 罰が当たるぞっ

わかった よ――!

ペルソナ様 おりて下さり ――と

さあ 来るよっ

……何だよ!? やっぱ何も 出ねーじゃん!!

しょーが ないじゃん 初めて やったんだし

……

やっぱ僕は 駄目なんだ～～～!!

でも それは 不思議な繋がり だった――

俺達3人は
それから
土曜になると
神社に集まる
様になった

何をして
遊んでいたかは
憶えていない
きっと
他愛もない
事だろう

何故か
隠れる様に

でも
当時の俺達にとって
マナは神社の
一本杉の精の様に
思えた

マナに
会うのが
楽しみだった

特に里人は
学校とは
見違える
様だった

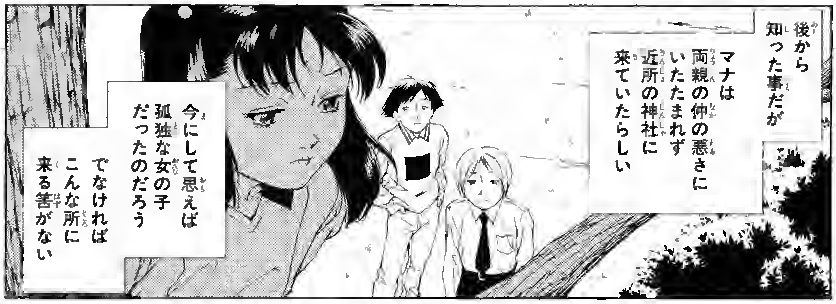
Mary had
a little lamb
Little lamb
Little lamb

何だ それ
メリーさんの
羊が――？

違うよ
この歌は――

俺達はマナの
分け隔てのない
自由な魅力に
ひかれていたの
かもしれない

あれっ？
マナー!!
今はダメー！
ここは
マナの世界
なんだから
一本杉は
マナの
特等席だった
何だか
ここから
街を見てると
嫌な事が
みーんな
私と関係ない
事みたいな
気がするの…


後から
知った事だが
マナは
両親の仲の悪さに
いたたまれず
近所の神社に
来ていたらしい
今にして思えば
孤独な女の子
だったのだろう
でなければ
こんな所に
来る筈がない

…僕も
登る!!
里人！
無理だって
おまえには
うるさいっ！
マナの所に
行くんだっ!!

いてっ
ドテ
里人ー!!
いつも
オドオドしていた
あの里人かー
あはは
頑張れ
里人ー
Jack and Jill
went up the hill
To fetch
a pail of water

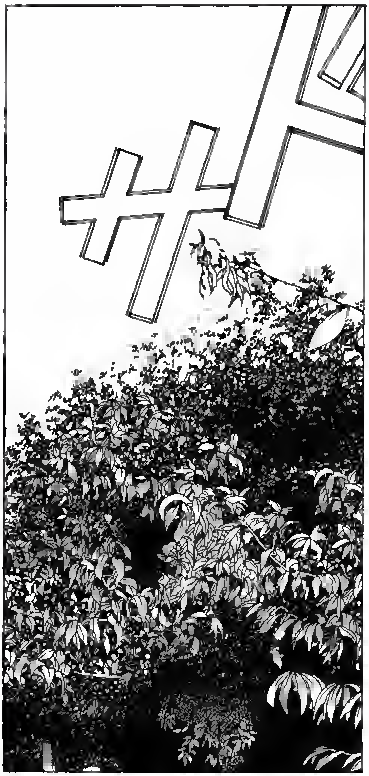
里人は
その日から
ずっと一本杉に
登り続けた
落ちても
落ちても
最初は
冷やかしていた
俺も
そのうちに
そんな里人を
凄いと思う様に
なっていた
里人ー

そして
7年前の
小4の頃の
ある秋の日
アラヤ神社
あれ――っ?
今日 里人は?

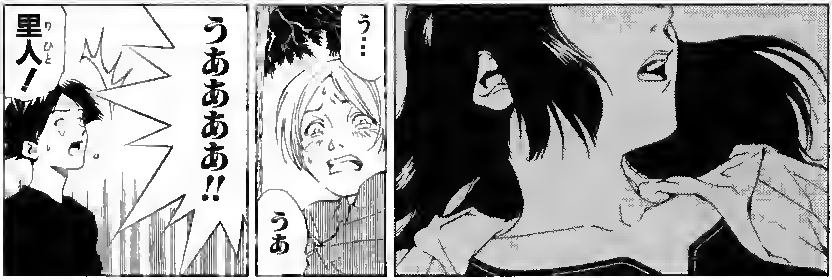
今日はいないよ
おっかしーないつも1番にいるのに…
一実！
マナ!!
見ろよっ登れた
登れたんだっ
凄いじゃん!!里人！
やっと解ったんだよ！ある所過ぎたらパーへんにパーッて
あんなに登れなかったのに……
ここが…マナの世界…

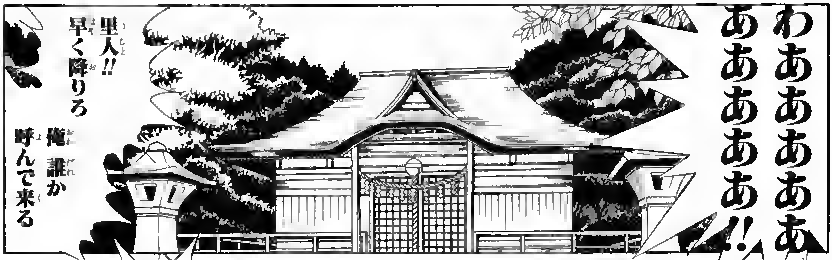
マナも
来いよ!!
一実も
俺
やだよ
罰当たり
そーだしー
待ってて
里人――!
情ないぞ
一実ー!
少しは
里人を
見習えば?
うるせー!

あ
え?



あっと…
いう間だった――


う…
うぁ
うあああ!!
里人!


わあああああああああ!!
里人!!
早く降りろ
俺
誰か
呼んで来る

早く!!
鼻から少し
血が出てただけで
もっと
血がどばっと
出るんだと
思っていた
なのに――

なのに

マナは
死んでしまった

俺達3人の
秘密の関係は
あっさりと
終わった…

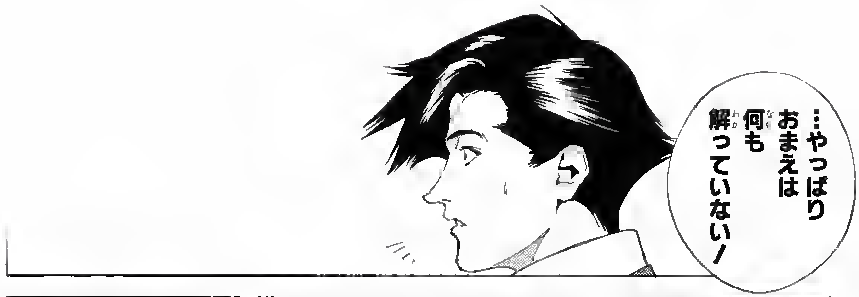
……

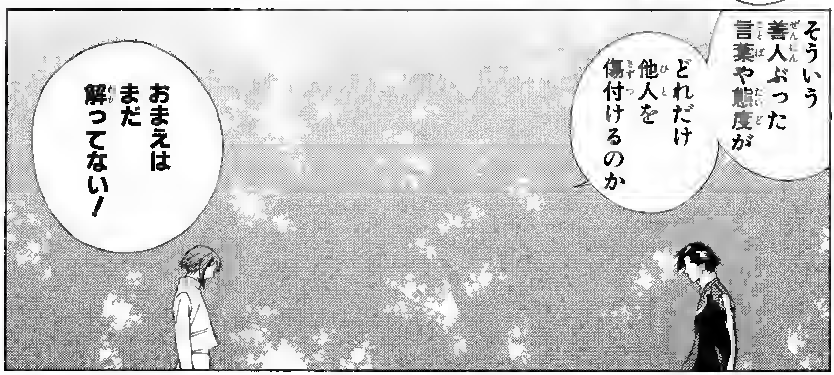
…俺の
せいだった

俺が…
一本杉に
強引に登り続けて
枝を傷めたから…
…だから…!!

違う！
里人
あれは…
事故なんだ！
だから おまえが
いつまでも
あの事に
苦しむ必要
ねーんだ!!
マナだって
喜んじゃ
くれねーよ!!
…
一実

ネンフィアに
何を言われたのか
知らねーけど
過去の傷に
つけ込んで
利用するのが
あいつらの
やり方なんだ！
悪りー事
言わねー
もうこんな
バカな事
やめてくれ!!
おまえの
ためだ!!
里人!!!
…一実…


…やっぱり
おまえは
何も
解っていない！


そういう
善人ぶった
言葉や態度が
どれだけ
他人を
傷付けるのか
おまえは
まだ
解ってない！

里…？
そうだ!!
俺は未だに
マナの死に
決着が
つけられない
おまえの様に!!
簡単に過去と
折り合え
ないんだよ!!

待てよ
俺は――
俺は
罰を受けるべき
だったんだ
非難されるべきだった…
マナを死なせた
罪の償いをするべきだったんだ
それを…

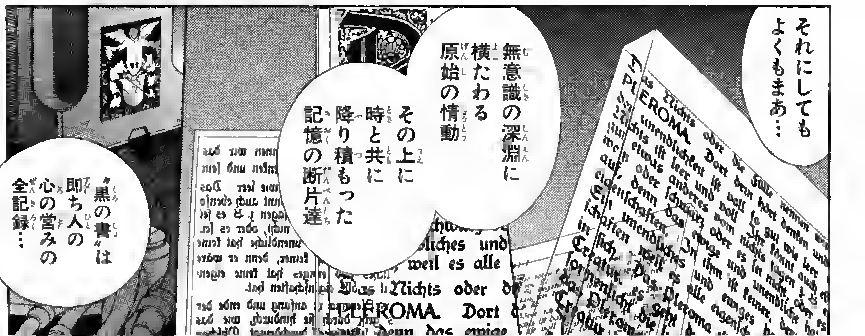
それを
おまえが
――!!
「怖りよ……
マナが
死んじゃったよ
一実…僕が…」
里人
余計な事
喋っちゃ駄目だ」
「……
一実？」
「りりか…
マナは…独りで
落ちたんだ！」
『おまえは
何も悪くない…
だから…
おまえが一本杉に
登ってた事も
俺達3人の事も
…みんな――』
『みんな秘密だ――』
…
あれは…
おまえの為に
！
おまえは
いつだって
そうだ!!

!!
おまえは
善意の皮を被って
俺の心を
踏みにじってきた
俺の気持ち
なんかには
目もくれずに
おまえの考えで
俺を縛って
きたんだ！

この力に
覚醒して
俺は初めて
自分の本心の
有り処を知った
俺は！
あの瞬間から
おまえを
憎んでいた
そして
そんなおまえを
受け容れて
従ってきた俺を
憎み続けて
きたんだ!!

そんな俺にネンフィアの社長は誰よりも早く気付いてくれた
あの人は俺にペルソナを使った"罪の浄化"の道を教えてくれたんだ
罰を受ける道さえ無くした今の俺が救われるには
もうネンフィアに協力する以外ない――
"書"を解き放つしかないんだよ!!
SCHWARZBUCH
立入禁止
ナル

研究・開発や
化学試験を
目的に造られた
この別棟の
地下深く――
ネンフィアの
最奥部にこそ
真の姿が――
日下という男
のらりくらり
躱すばかりて
その本心を
見せません…
ならば
禁を
破ってでも
その核に
触れるのみ…


それにしても
よくもまあ…
無意識の深淵に
横たわる
原始の情動
その上に
時と共に
降り積もった
記憶の断片達
黒の書は
即ち人の
心の営みの
全記録…

無限に広がる人の精神
その〝力〟を自在に操るべく
いわば「疑似精神」として
構築されたのが
この〝黒〟システム――
タカ
コキ
Archive File: Persona
Archive File: Persona
ピピピ
刈り集めたペルソナ達…これほどとは
これならばほとなく〝青〟は――
ピピ
…2分後…？
一体何を…
Test Starting
00:02:48
よもや！
あの男――
今この〝黒の書〟を――!!

図星だ
!!
ぬが
DdL!!!
疎漏……!!
"門番"の存在を忘れるとは

ガーディアン
ハンマー!!!
ウィ
ぐはぁっ

ぐ…流石…
〝書〟が…
G・Rを
生み出した時
その生成力場に足を
踏み入れたが故に
G・Rと融合
してしまった男…
〝書〟の
門番にして
最強の刈り手
B・B…!!

やってくれたな
…羅睺
起動に備えて
警備を強化して
いたはずが
侵入を許すとは
やはり…
〝書〟を起動
させる気
ですか…!?
おやめなさい…
まだ…〝書〟は
起動の妨げとなる者は
理由の如何を問わず
排除すべし
命令だ

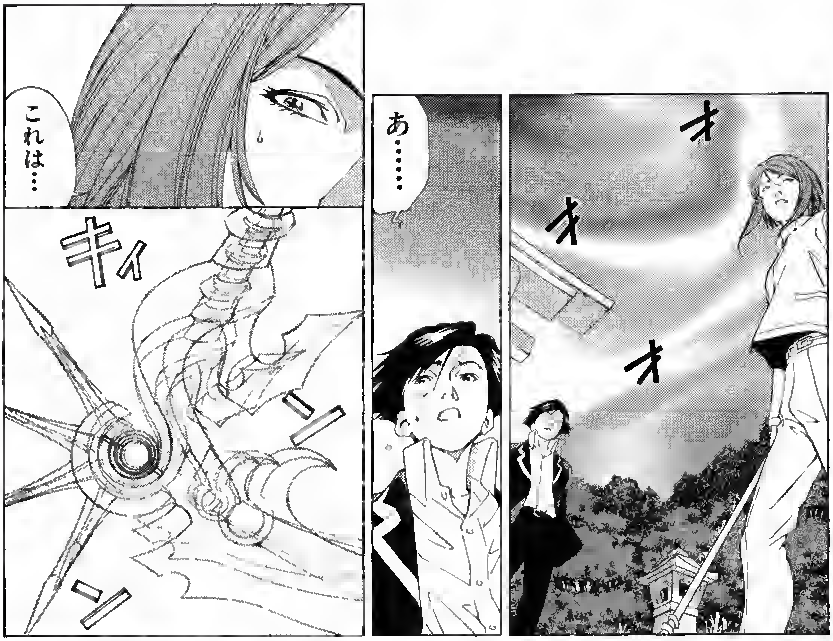
ぐ…く
〝書〟を掴む者は
世界を掴む
あんな男に…
その器があると
…本気ですか
ズン
ギュル
〝書〟を…
不完全な状態で
解放するなど
その証左
ですから…
あなたも
私と共に
あうっ!!!
ドサ
Test Staring
…時間だ

もし…
世界が
滅ぶなら
それもいい
住友
WISE

FUJITSU

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
あうっ
鈴音—!!
"音"が…
開いた…!!
ウソ…
早過ぎるよっ!!

ズ
ズ
ズ
は…!!


これは…
ギィ
あ……
オ
オ
オ

〝書〟が起動した…!?
どういう事だ……
くそ…こんな時に俺は――

里…
一実
もう これ以上話す事は何も無いと思え
今日は退く…
だが

"書"の解放以外に俺達に救いはない
もう誰にも止められない止めさせない……!!

忘れるな…!

俺は…何も言えなかった
「君が彼の本心に気付かなかっただけ……!」
返す言葉が無かった訳じゃない
俺が里人をこうまで深く傷付けていた
その事実に打ちのめされただ呆然としていたんだ

俺は　もう
半ば
確信していた

里人が
もう2度と
戻って来ない
事を

俊達は最初から
友達なんかじゃ
無かったのだから——

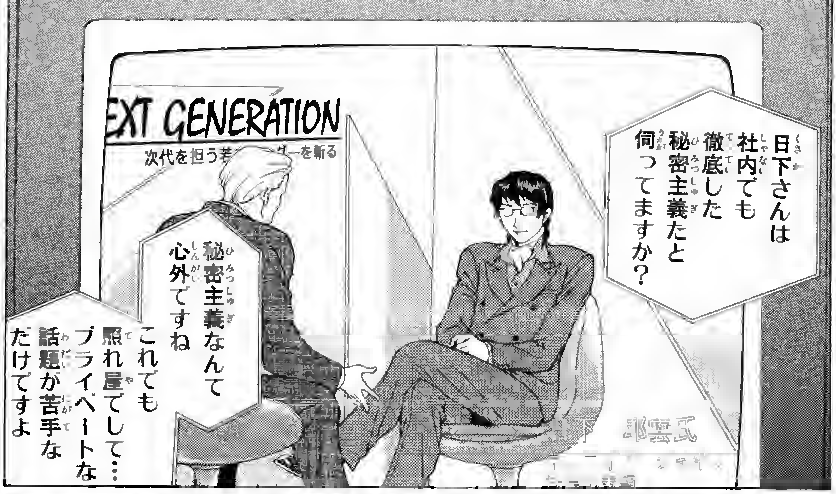
同じ頃
里人が
〝罪の浄化〟と
呼んだもの

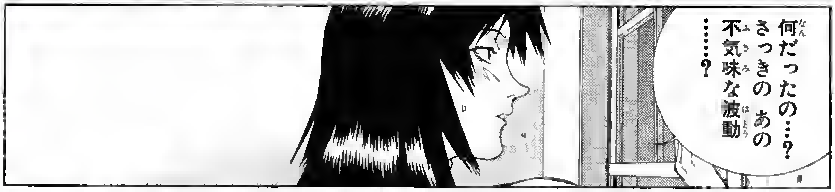
後に
〝ネンフィア・
スキャンダル〟と
呼ばれる事となる
一連の陰謀が
遂に　その姿を
顕し始めていた

それは　まるで

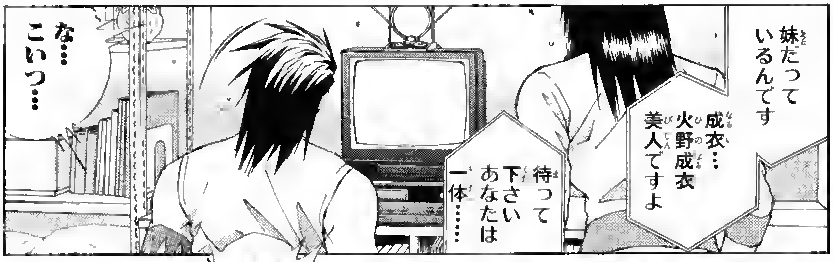
俺や…里人や…
人類全ての罪を
暴くかの様に

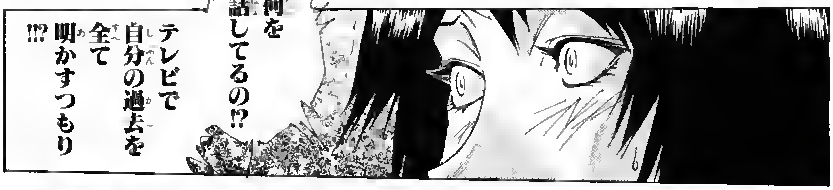
高らかに——


EXT GENERATION
次代を担う若者たちを斬る
日下さんは
社内でも
徹底した
秘密主義だと
伺ってますか？
秘密主義なんて
心外ですね
これでも
照れ屋でして…
プライベートな
話題が苦手な
たけですよ


何だったの…？
さっきの あの
不気味な波動
……？

いずれ判る
…こいつ何か
仕掛けて来るぜ
…絶対にな！
実は
この場を借りて
重大な告白を
しなければ
なりません
重大な？
何ですか
お兄ちゃん
……
日下耶雲は
僕の本名では
ありません
素性を隠すために
バリのN会長が
つけて下さった
いわば“号”です
え…？
ご冗談でしょう
僕の本名は
火野精一郎


妹だっているんです
成衣…火野成衣美人ですよ
待って下さいあなたは一体……
な…こいつ…


何を話してるの!?
テレビで自分の過去を全て叩かすつもり!?!?

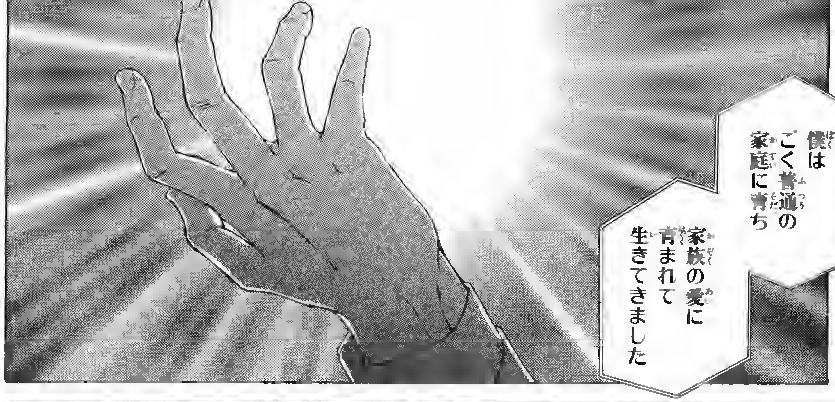
いい機会だ
僕の生い立ち
この場で包み隠さずお話ししましょう

ギョクコウジョウテイ　（玉皇上帝）

『西遊記』などでもお馴染みの、中国（道教世界）の天上界の最高神の一人。ギョッコウジョウテイとも。

耶雲のペルソナは何故か中国系でまとまってしまった（回想シーンにて最初に発動させていたペルソナは「キジムナー」、沖縄地方に伝わる精霊だけどね）。この点に関して、作者に作為はないので、一応。

12. 核心(カクシン) 》浄化(ジョウカ)



12. 核心 ≫ 浄化
PERSONA

兄が過去を公にするなんて
でも…
〝恵まれた環境〟なんて大嘘！
ああああ
10年前に行方不明…
それがネンフィア社長として突如姿を現した男

成衣
どういう事だ!?
判らない
…確かに兄は火野精一郎…私は火野…成衣

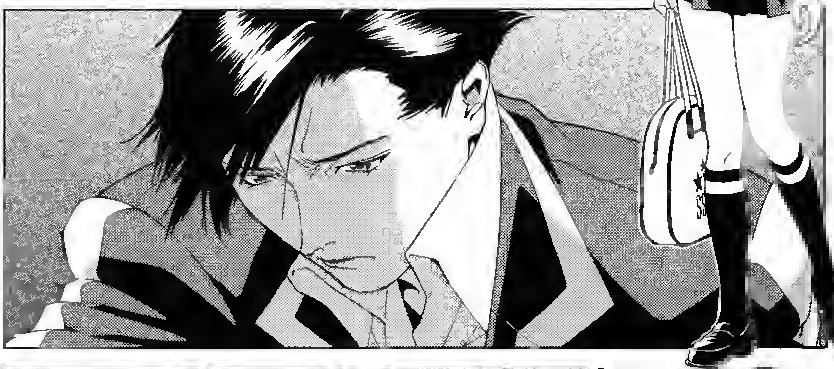
本名を明かせば何もかも知れ渡る事を
どうしてこんな見え透いた嘘で——

信じられません
一法人の最高責任者が偽名…!!
一流企業のネンフィアがそんな無謀な真似を許すとは　とても…
前代未聞…ですか?
そう…人は過去に縛られます
しかし それでは何も変わらない
何も生まれない
僕がお話しした内容は
N会長と協議の上取り決めた事
NEXT GENERATIO
次代を担う若きリーダー
僕の出自は全て事実です

スタジオの端を
あれが両親と妹です
私が…
死んだ両親まで
おい…これ生放送だろーが…
こりゃヤラセか魔法…
何もかもネンフィア誇る〝書〟の賜物です
僕は…過去を消したのです

〝書〟の力は
またまだ
局地的かつ
一時的な物に
過ぎませんか
近い内に僕達の
研究努力が
実を結びます
あうっ
すいません…
ちょっと
解りづらい
お話ですか…
成衣
その時こそ
未来も過去も
ネンフィアが
美しく変える
おまえ
……!?
ネンフィアが
この世界を
〝浄化〟する時です
い…一旦
CMです…!
あぁっ
ビリ
成衣
こいつ…消え

さっきのバカでけえ波動だ…
こいつぁ魔法でもヤラセでもねえ
放送を利用して〝黒の書〟の力を試したって事だ
ハア
記憶の改変
過去への干渉
…何かは判らないけど
ハア
ハア
成衣
兄の目的は
汚れた過去を
…消す事…
罪の浄化!!
アラヤ神社



木場君…
！
伊藤…
何か
気になって
学校もサボって
捜しちゃったよ
も——
心配かけて…

何もかも
終わっちまった

俺が
やってた事も
信じてた事も
みんな無意味
だったんだ…

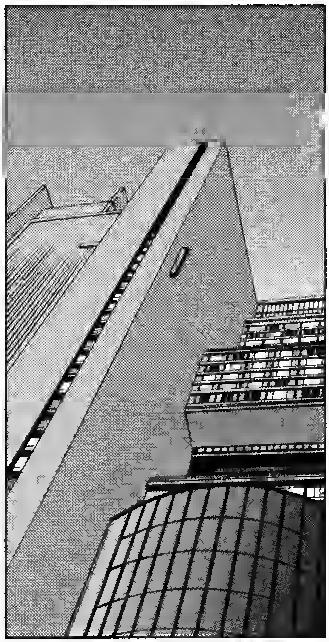
木場君…

それどころか
肝心な事も
解らずに
無意味な
優しさで…
他人を
傷付けて来た

俺は
間違ってた…

ねえっ！
どっか
行こっか!?

でも俺
いーからっ
行こっ
木場君
大丈夫
私ヒマ
だし
いや
そーじゃ
なくて…
おいっ



やったね
耶雲！
とりあえずね
完全ではないが
…ほぼ
僕達の理論は
実証された

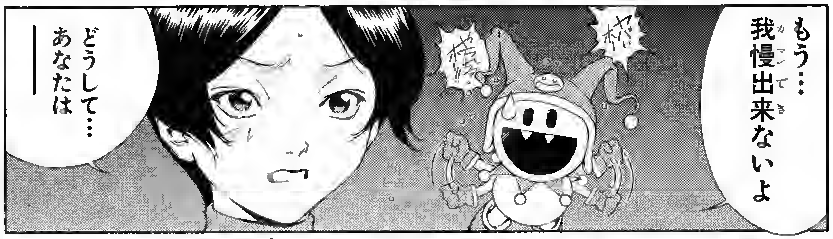
零亜も
頑張って
ペルソナ
刈ってくるよ

ハミュウ
耶雲っ！
!!
これは…

〝書〟を急いで開いたりするから
悪い事に使おうとするから

耶雲！
ああ
なるほど…〝黒〟は まだ使える代物ではない…
そういう事だね…？

〝赤〟を
携えし者――


もう…
我慢出来ないよ
ガバッ
ガシッ
どうして…
あなたは――

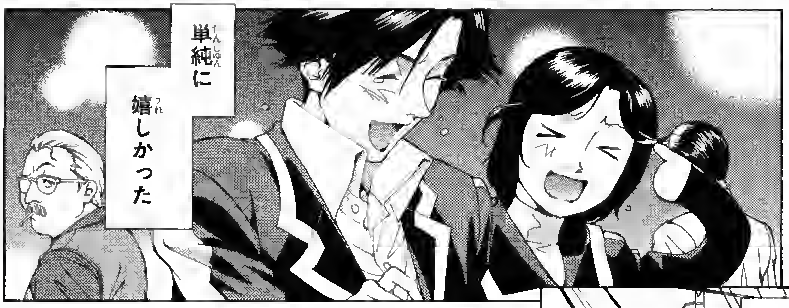
君には
会いたいと
思っていた

青葉通り
なんで青葉区なの？
え～？やっぱ初デートは落ち着いた大人の街青葉区よん
初デート？

それに夢崎とかじゃみんな遊びに来てるから会いそーじゃん？
マズいんでしょ？木場君には！
伊藤…
もぉ～この迷亡者ー!!
ゲーセン…あるかな？青葉にも
ムー様
あ！きっとあるよ探そっっ!!

サトミタダシ
あ！
サトミタダシ
きゃーあ☆
青葉のサトタダ
品揃えが
大人向き～
ケーセン！
伊藤は
何も
訊かなかった
彼女の明るさも
俺に全てを
忘れさせてくれた
Dream Catcher

BOX
先行者
私を抱いて　その腕で
DRINKS
人の善意を
こんなに身近に
感じたのは
初めてで——


単純に
嬉しかった

そういえば
一度だけ
マナが
俺の家に
来た事がある
俺が
風邪をひいて
アラヤ神社に
行けなかった
その翌日に

大丈夫…？
うん…
熱…
下がったし
もう
平気だぜ
お見舞いなんか
いいのに…
ごめん…
気に
なったから
跳び上がるほど
嬉しかったくせに
俺は何も
言えなかった
There was a crooked man.
And he went a crooked mile
He found a crooked 6 pence
また
歌かよー
この歌はね
曲がった男の
歌――
曲がった道を歩いて
曲がったお金を拾って
曲がった猫を買って
最後は
曲がった家に
みんなで住むの
変なの～～～

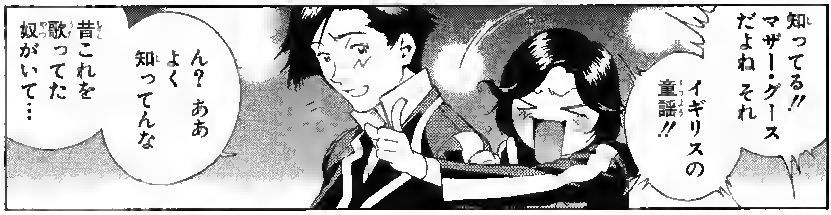
でも良かったじゃん曲がった仲間がいて
どうせそういう奴って曲がった同士じゃなきゃ楽しくねーんだろうし
あは
一実って優しいくせに厳しいって里人も言ってた
何だよそれ!!
一実

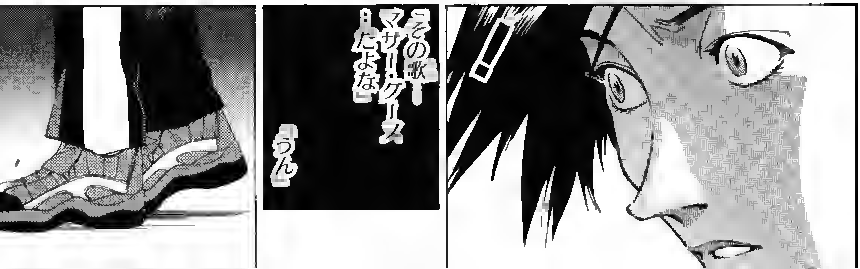
ずっと私や里人の事忘れないでね
里人も…アラヤ神社しか行く所無いの
私と同じ…

俺は?
一実は違うよ
一実は大丈夫…
そーかぁ…?

「でも それじゃ どうしたらいいか 判んねーよ」
「多分ね!! 一実は 余計な事 考えなくていいの」
「里人も そう思ってる」
一実は
一実の そのまんまで

あいつは 俺や里人の事 ばかり 喋っていた
でも… 本当は


知ってる!! マザーグース だよね それ イギリスの 童謡!!
ん? ああ よく 知ってんな
昔これを 歌ってた 奴がいて…


その歌 マザーグース だよな
うん

伊藤
俺…
行かなきゃ

木場君…？

楽しかったよ
何もかも忘れて
でも
忘れたくても
忘れちゃ
いけない事も
あるんだ
だから…

多分 木場君
凄い辛い目に
あってるんだよね
家にも
帰れないで
独りで
苦しんでる
なのに
それでも
まだ
逃げないん
だね

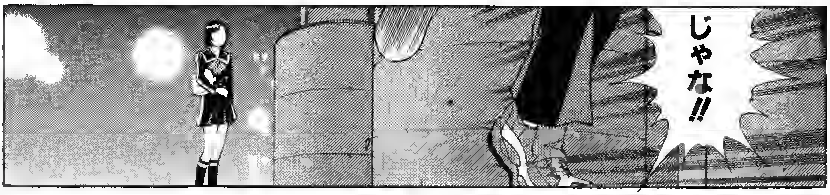
みんなが
木場君の事
優しいって
でも
違う…

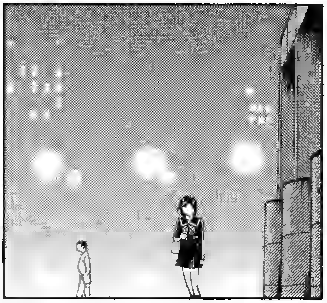
やっぱり
違うんだね

木場君て
本当に強い
誰もそれを
木場君自身も
知らないだけ
……
俺が…
私は！
知ってるよ
私だけは
ずっと…
見てたから…
伊藤…

一実～～～!!!
J・F？
良かったホー
ラッキーだホー!!
鈴音が…
鈴音が
大変だホー
テレビ局で
ネンフィアと
喧嘩だホー!!
珠間瑠TV…？
何だって
そんな所に
どーするホー
決まってる!!
ナッ

ありがとな 伊藤
俺が… 戻ったら
また来ようぜ …約束だ！
今日の事… 忘れねー！


じゃな!!



頑張れ キバ～!!

一美 急ぐホ―!!
わかってる!!

そうなんだ…
ずっと解ってたのに
気付かなかった物…

俺が俺自身の手で蓋をしてしまった記憶

この戦いは

ズズズ
素晴らしいと
思うだろう

〝書〟の力を
使えば
この世界は…
過去も未来も
思うままだ
過去の罪は
消える
未来は変わる
些細な〝噂〟を
現実として
具象化する
事すら
可能なんだ

あなたは
生きる辛さから
逃げてる!!
ズ
そんな
あなたが
〝黒〟を持っちゃ
いけないのに!!
耶雲
下がれ零亜
G・R無しで
かなう相手じゃない

耐え切れない辛さという物もある——
俺ハ暗キ所ヲ照ラス者…
ショクイン
負けない!!
どうかな

朕こそが
天界より
万物の運命を
定めし
玉皇上帝なり
同時に
2つの
ペルソナを
発動させた
……!!?

凄いな…
予想以上だ
やはり君は
僕達とは違う
君の力は
〝赤〟
そのものだ
合体魔法だ
零亜！手を
貸してくれ
ぐ…
キィィィン

その力を
過去を消し去る
力を
我が手に――!!
パンテオン!!

ズ
ズ
ズ
俺は…
忘れない
キィィィン
！
どんな過去だろうと
未来だろうと
俺の物だ
グッ
おまえらなんかに
消させるか!!

君は…
お兄ちゃん…
運命を呑み込む
地の魔剣……！
110番しといてやった
いつまでもこんな所で魔法合戦出来ねーぞ
……また会おう
耶雲！
残念だが退き時だ

一瞬で
場の空気の
流れを
変えるとはね
君が
〝運命の彼〟
――――!
3つ目の鍵
俺は
その重さに
耐えていた
もう
俺には
解っていた
この戦いは
俺の戦い
〝俺自身〟と
賭けた戦い
なのだと
例え それを
阻むのが
里人でも
俺は
打ち倒して
進むしか無いと…

松枝尚嗣PRESENTS

覚醒する力…

強敵との出会い…

B-DASH

全5巻

JUMP COMICS

果てなき闘いの旅路

ペルソナ

罪と罰　監修/ATLUS

I —II 以下続刊

全ての力が今、ここに集う

絶賛発売中

■ジャンプ・コミックス

ペルソナ～罪と罰～

2 4つの鍵

2001年6月9日　第1刷発行

著者　松枝尚嗣
©Naotsugu Matsueda 2001
監修　ATLUS

編集　ホーム社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山路則隆

発行所　株式会社 集英社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03（3230）6231（編集）
電話　東京　03（3230）6191（販売）
03（3230）6076（制作）
Printed in Japan

印刷所　株式会社 廣済堂

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁（本のページ順序の間違いや抜け落ち）の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して、集英社制作部宛にお送り下さい。送料は集英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で購入したものについてはお取り替え出来ません。本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

ISBN4-08-873129-8 C9979